

市民・事業所アンケート調査結果  
【中間報告】  
～ 第2部会 ～

目 次

1. 市民アンケート（共通）	1
1.1 調査結果の概要	1
(1) 調査の概要	1
(2) 回答者の属性	1
1.2 調査結果	3
(1) 高砂市の住み心地	3
(2) まちのイメージと将来像	12
(3) 今後のまちづくり	14
2. 事業所アンケート（共通）	16
2.1 調査結果の概要	16
(1) 調査の概要	16
(2) 事業所の属性	16
2.2 調査結果	18
(1) 現在の高砂市について	18
(2) まちのイメージと将来像	21
(3) 今後のまちづくり	22
3. 調査結果（部会別）	23
(1) 環境について	23
(2) 産業について	24
(3) 都市計画について	30
(4) 市民活動について	33

## 1. 市民アンケート（共通）

### 1.1 調査結果の概要

#### (1) 調査の概要

調査時期	・平成 21 年 7 月		
調査対象	・高砂市に居住の 18 歳以上の方 3,000 人を無作為に抽出		
調査方法	・郵送配布及び郵送回収		
回収率等	配布数	回収数	回収率
	3,000	1,951	65.0%

#### (2) 回答者の属性

図 性別割合

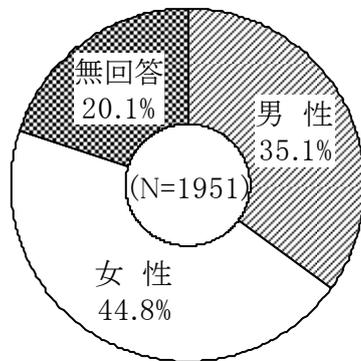


図 年代別割合

(N=1951)  
0% 5% 10% 15%

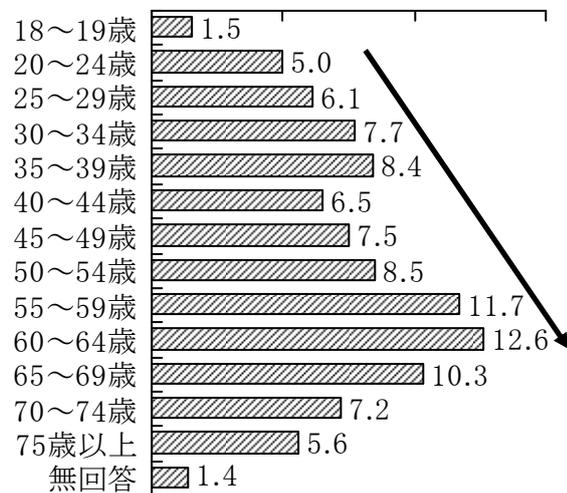
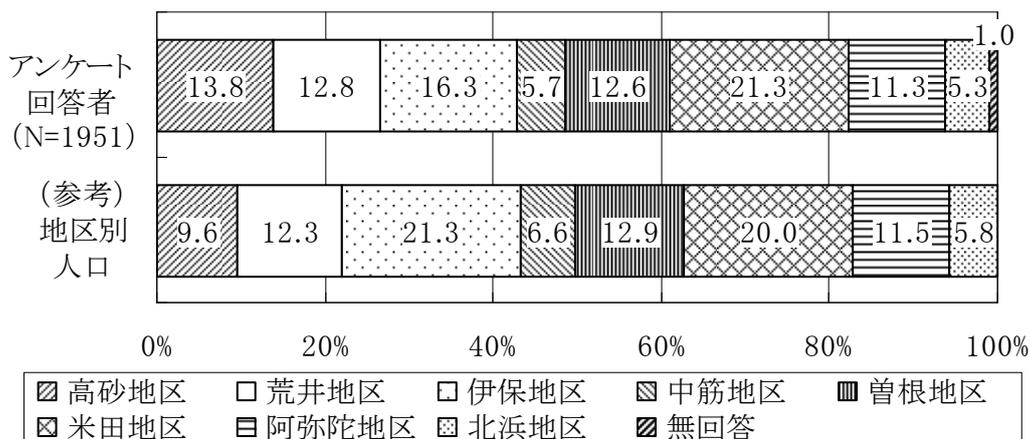


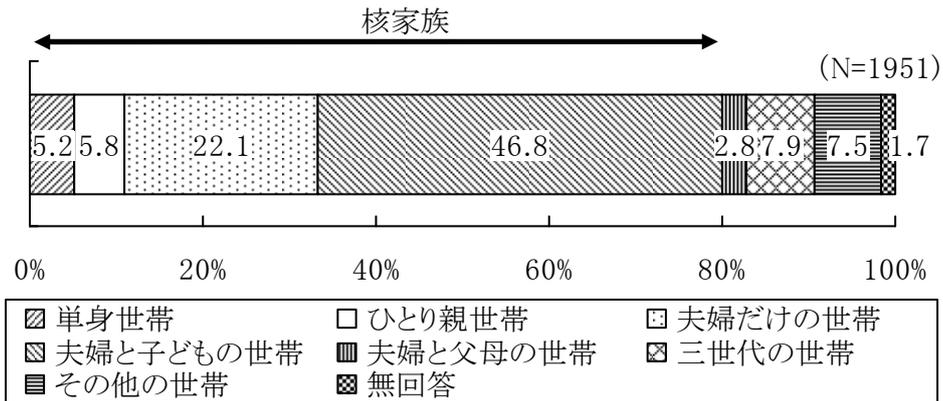
図 居住地区別割合（参考：地区別人口割合）



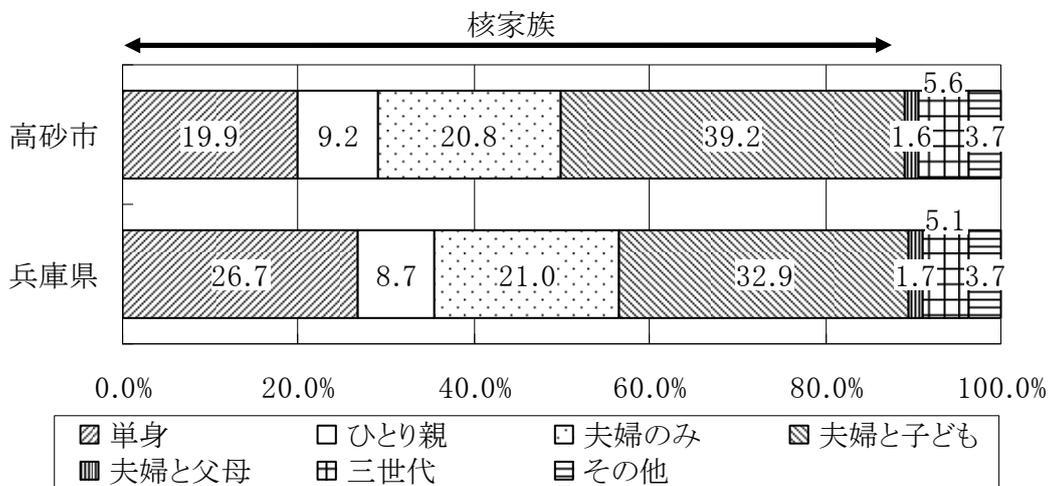
※地区別人口：住民基本台帳人口・外国人登録人口、平成 21 年 7 月末現在

- ・アンケート調査票の回収率は 65.0%と高く、市民の行政への関心が高いことが伺える。（参考：H5 調査 62.1%、H12 調査 63.0%）
- ・回答者は女性の方が多く、年代が高いほど回答割合が高い。

図 家族構成の割合

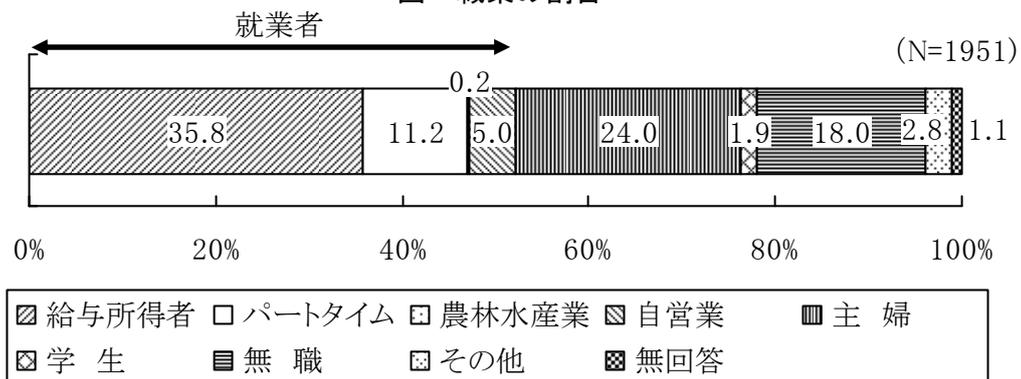


参考図 世帯の家族類型の割合（平成17年国勢調査）



※三世代：夫婦と子どもと親世代  
 その他：その他の親族を含む世帯、非親族世帯

図 職業の割合



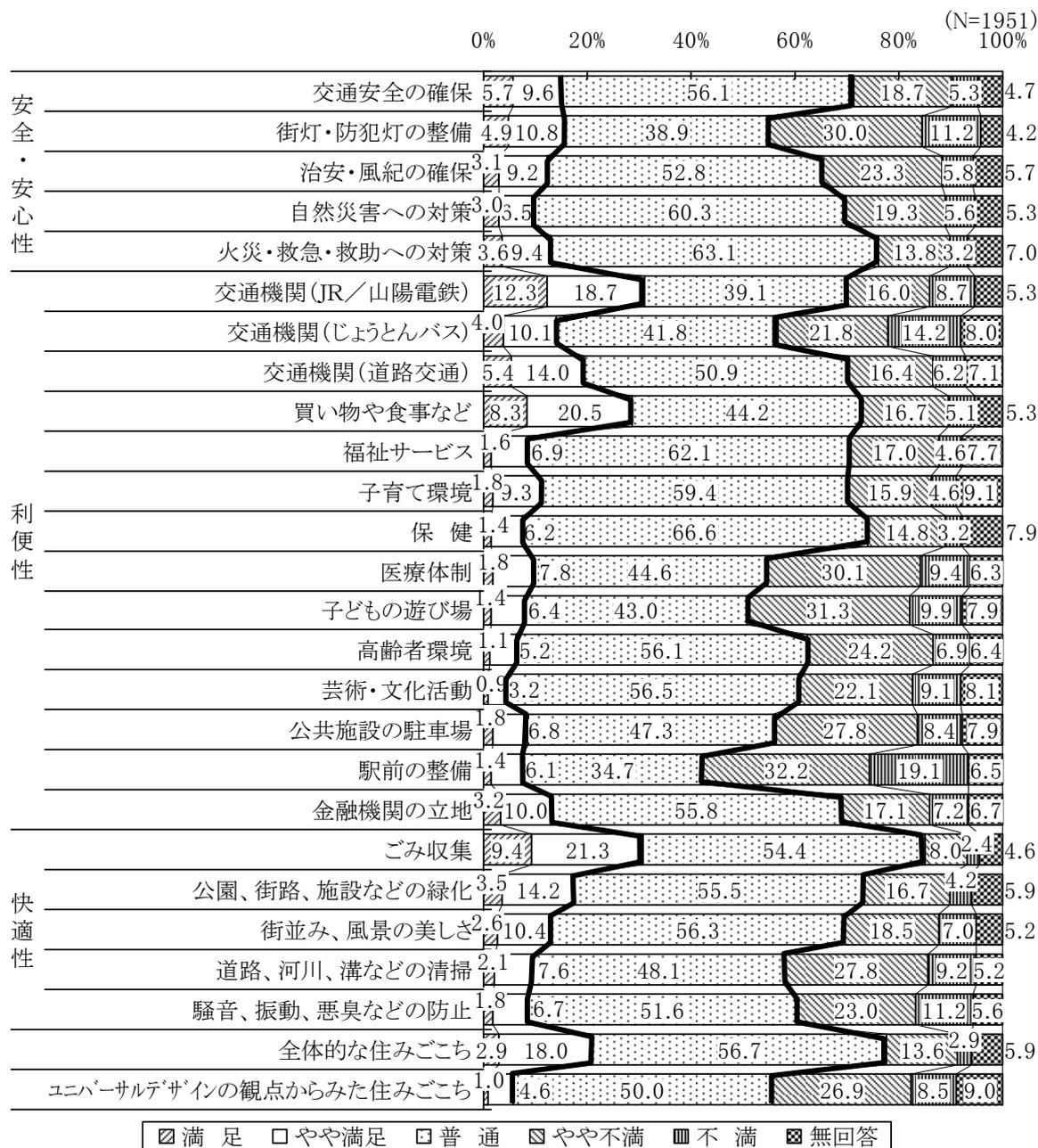
- ・ 家族構成は、「単身世帯」、「ひとり親世帯」、「夫婦だけの世帯」、「夫婦と子どもの世帯」の核家族が約8割を占めており、「三世代の世帯」は7.9%と少ない。
- ・ 兵庫県全体と比較すると、「単身世帯」が少なく、「夫婦と子どもの世帯」が多いが、核家族の割合は約8割と同じである。
- ・ 就業者は回答者の約半数である。

## 1.2 調査結果

### (1) 高砂市の住み心地

#### ① 居住地域の生活環境

図 居住地域の生活環境評価（市民問8）



#### ○全体の評価

- ・全体的に評価が低く、生活環境 26 項目中 22 項目で満足度より不満度が高い。

#### ○満足度が高い項目

- ・満足度が高い項目は「交通機関（JR/山陽電鉄）の利便性」、「ごみ収集」、「買い物や食事などの利便性」であり、「全体的な住みごこち」も比較的高い。

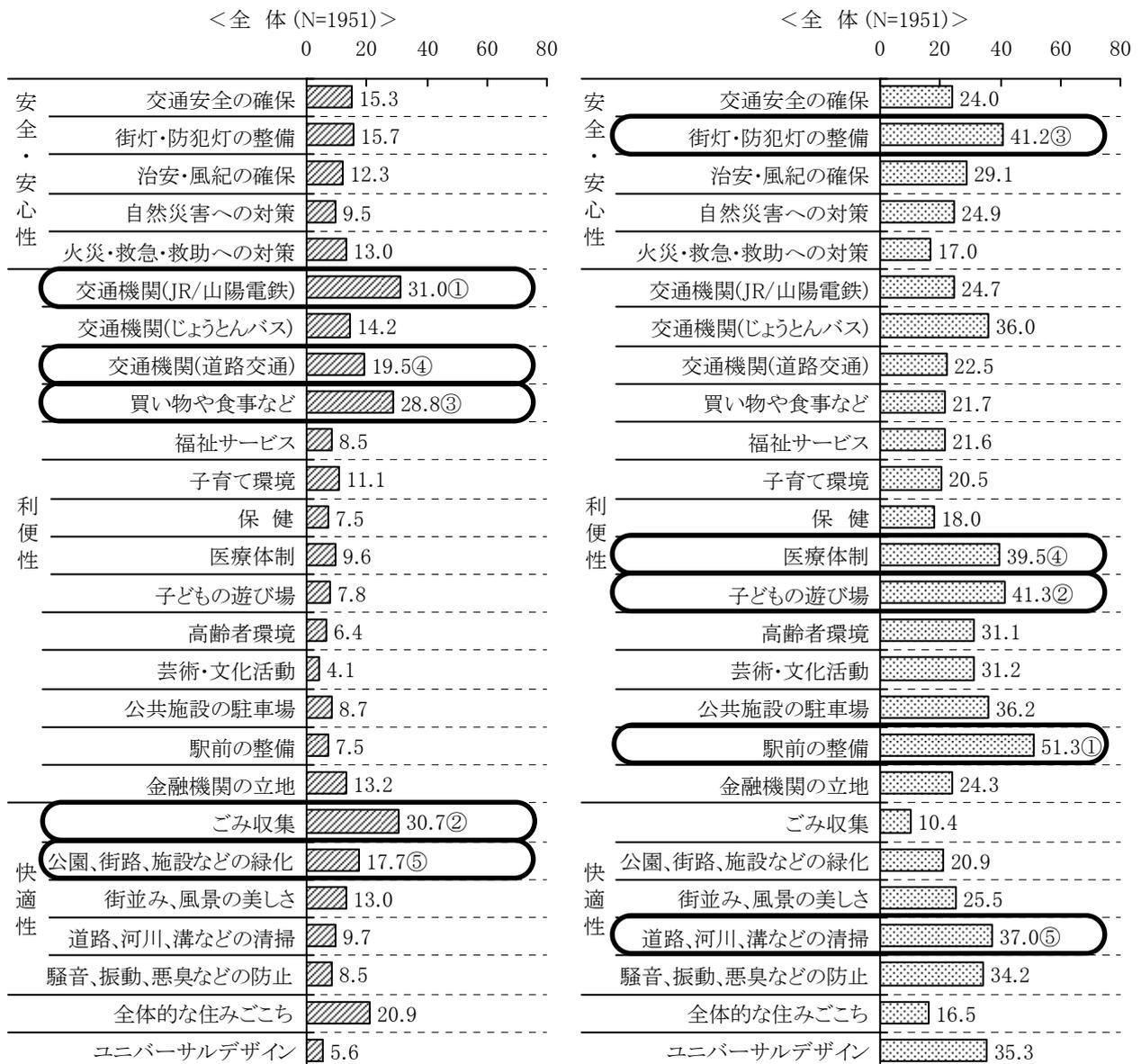
#### ○不満度が高い項目

- ・特に不満度が高い項目は「駅前の整備」、「子どもの遊び場」、「街灯・防犯灯の整備」、「医療体制」であり、「ユニバーサルデザインの観点からみた住みごこち」も比較的高い。

図 居住地域の生活環境評価（市民問8）【ランク付け】

〔満足度〕

〔不満足度〕



※各項目の数値は、以下のように評価値を合算した値

〔満足度〕 = 「満足」 + 「やや満足」

〔不満足度〕 = 「不満」 + 「やや不満」

※①～⑤は、合算値の上位項目に記載（満足度の高い項目、不満度の高い項目）

○地区別

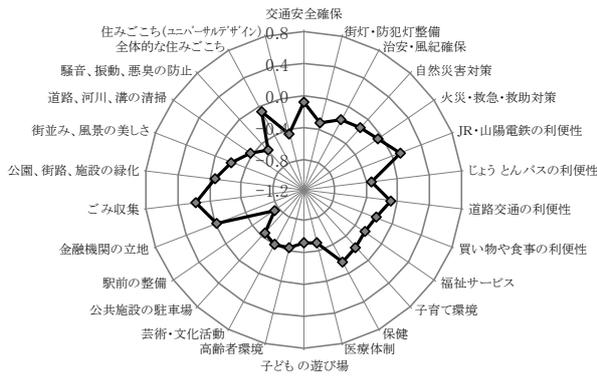
- ・「交通機関（JR／山陽電鉄）の利便性」、「買い物や食事などの利便性」については米田地区や荒井地区では満足度が高いが、阿弥陀地区や北浜地区では不満度が高い。

○年代別

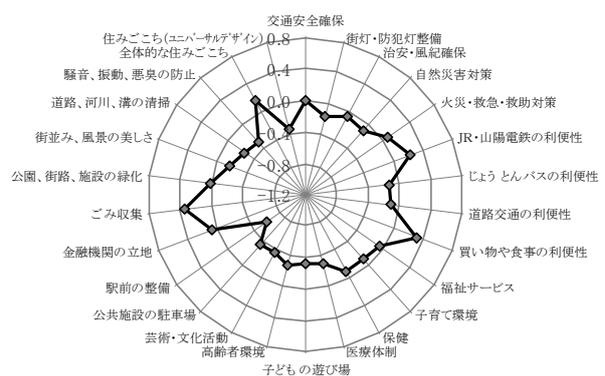
- ・「買い物や食事などの利便性」について、全体では満足度が高いが、若年層では不満度の方が高い。
- ・「ごみ収集」については高年層での満足度が高い。
- ・「駅前の整備」、「街灯・防犯灯整備」、「治安・風紀の確保」、「子育て環境」、「ユニバーサルデザインの観点からみた住みごこち」は若年層の不満度が高い。

図 居住地域の生活環境評価（市民問8）【地区別】

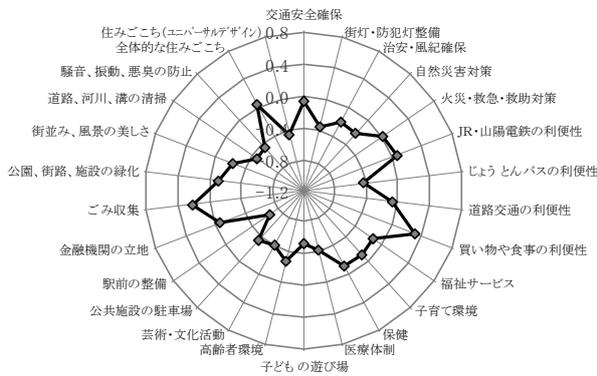
高砂地区(N=269)



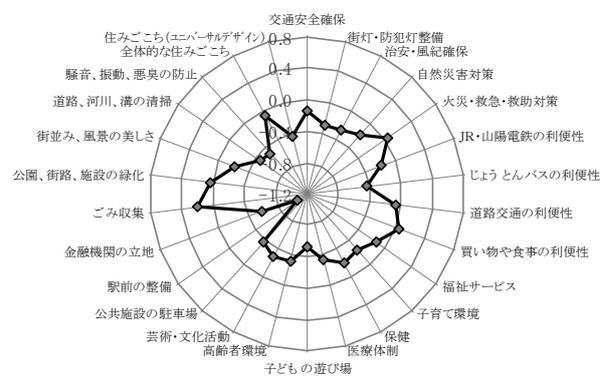
荒井地区(N=249)



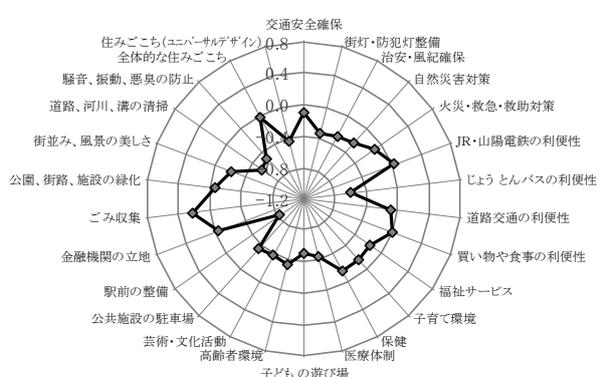
伊保地区(N=318)



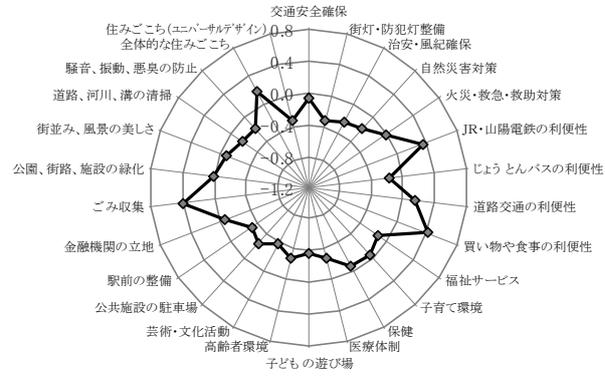
中筋地区(N=111)



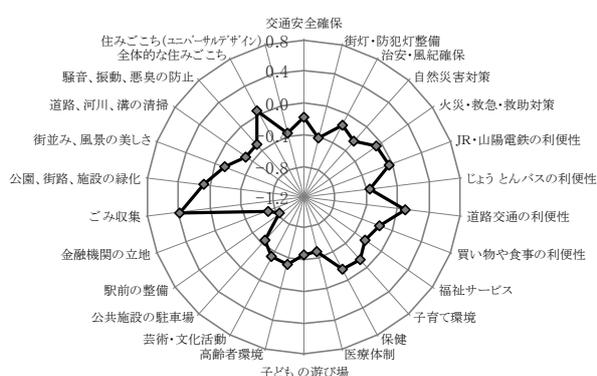
曾根地区(N=245)



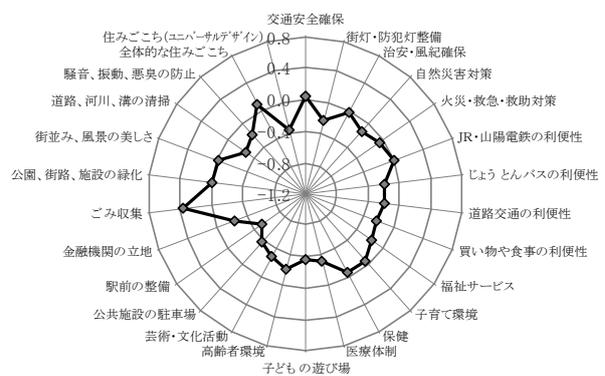
米田地区(N=416)



阿弥陀地区(N=220)



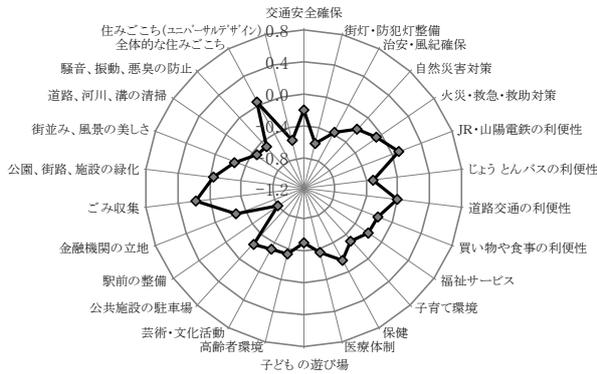
北浜地区(N=104)



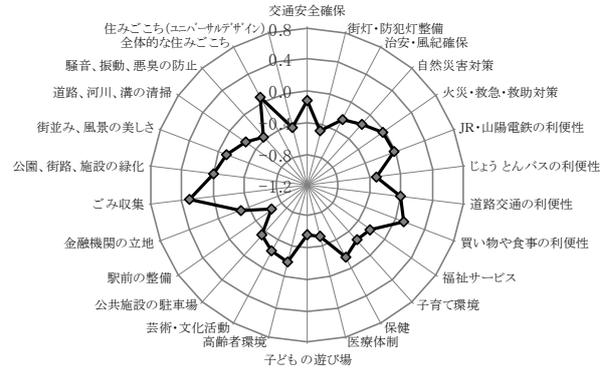
※各項目の数値は、評価を以下のように設定し、選択した回答者数で加重平均した値  
 満足=2.0、やや満足=1.0、普通=0.0、不満=-1.0、やや不満=-2.0

図 居住地域の生活環境評価（市民問8）【年代別】

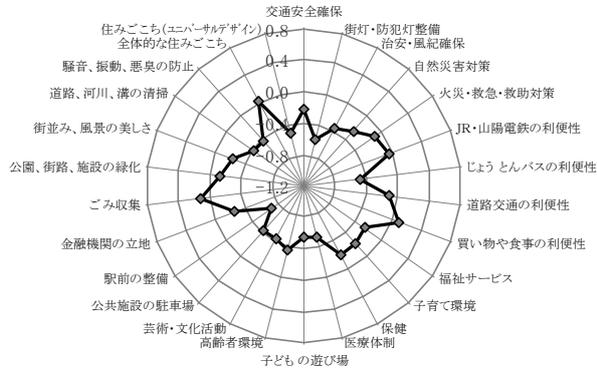
29歳以下(N=247)



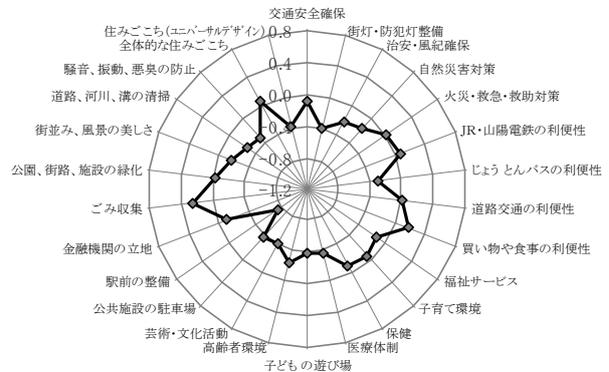
30歳代(N=313)



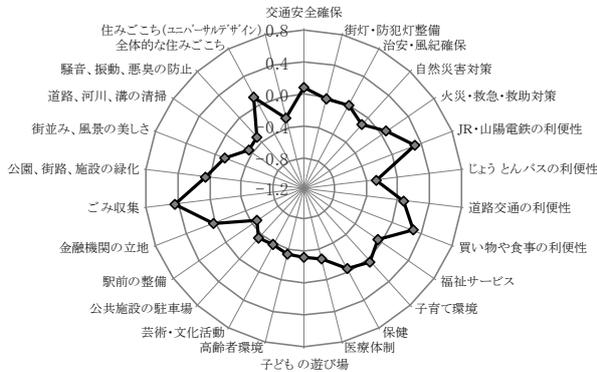
40歳代(N=272)



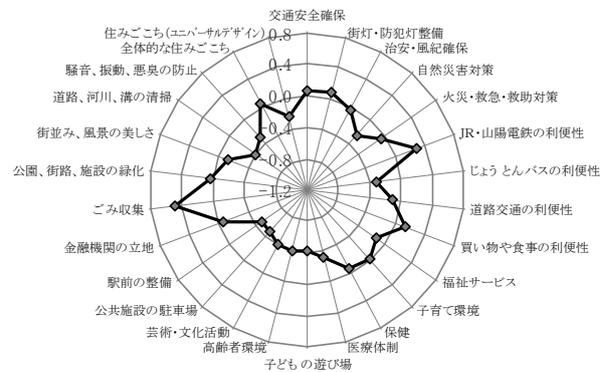
50歳代(N=394)



60歳代(N=447)



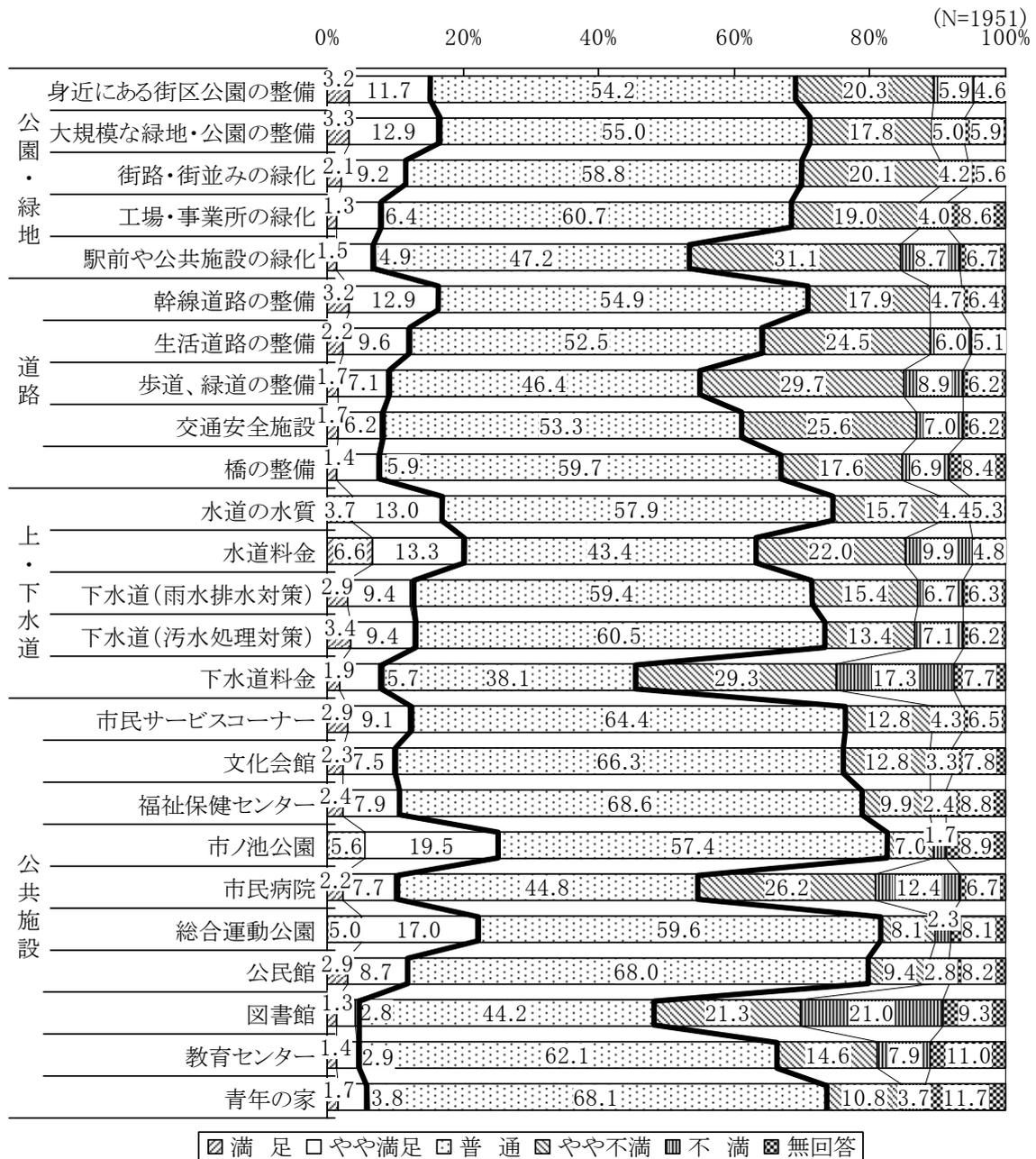
70歳以上(N=251)



※各項目の数値は、評価を以下のように設定し、選択した回答者数で加重平均した値  
満足=2.0、やや満足=1.0、普通=0.0、不満=-1.0、やや不満=-2.0

②居住地域の都市施設

図 居住地域の都市施設評価（市民問9）



○全体の評価

・全体的に評価が低く、都市施設 25 項目中 23 項目で満足度より不満度が高い。

○満足度の高い項目

- ・満足度の高い項目は「市ノ池公園」、「総合運動公園」である。
- ・「水道料金」や「水道の水質」は他項目と比較すると満足度は高いが、不満度の方が高くなっている。

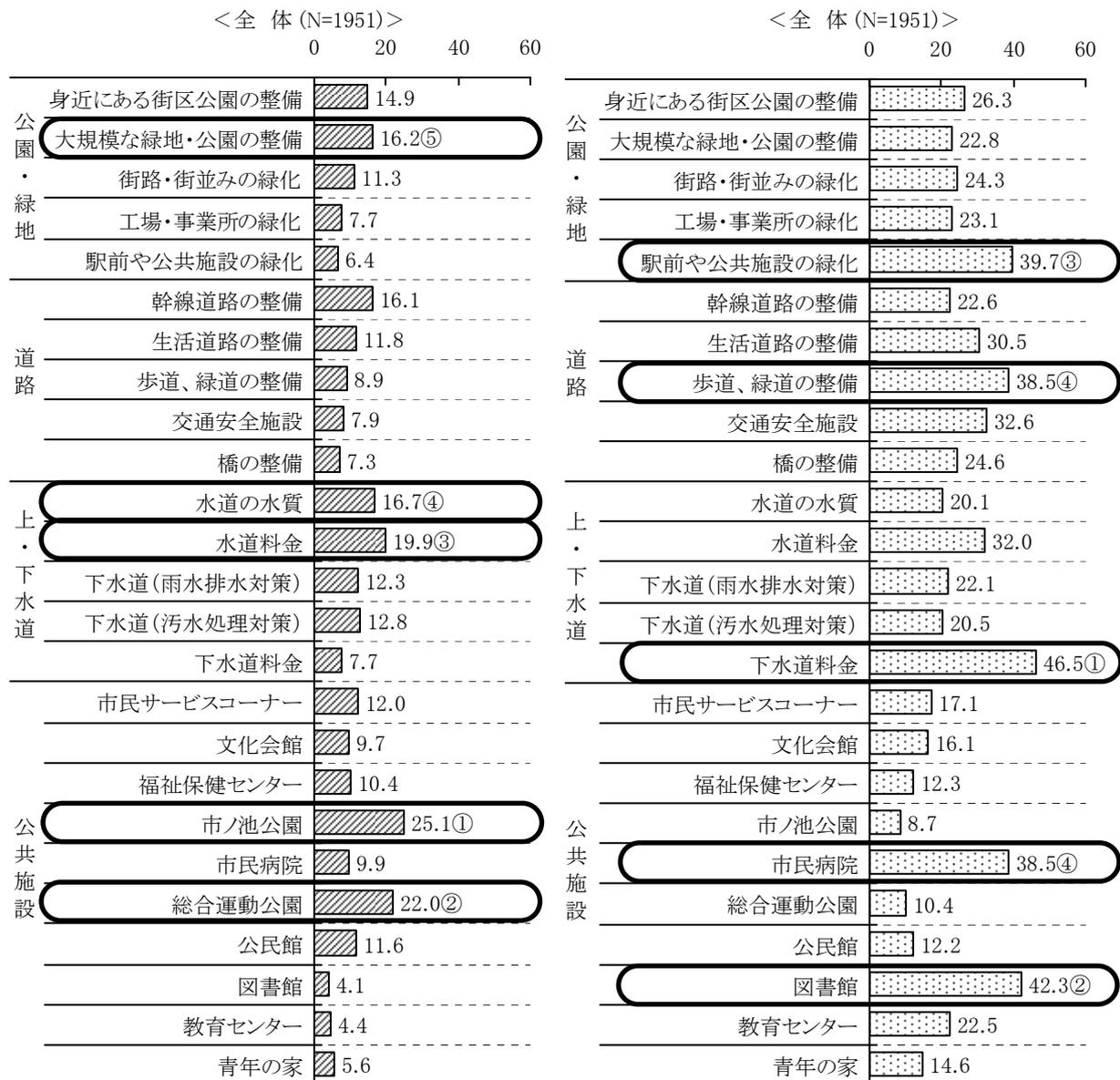
○不満度が高い項目

- ・不満度が高い項目は「下水道料金」、「図書館」、「駅前や公共施設の緑化」であり、「市民病院」、「歩道、緑道の整備」も比較的高い。

図 居住地域の都市施設評価（市民問9）【ランク付け】

〔満足度〕

〔不満足度〕



※各項目の数値は、以下のように評価値を合算した値

〔満足度〕 = 「満足」 + 「やや満足」

〔不満足度〕 = 「不満」 + 「やや不満」

※①～⑤は、合算値の上位項目に記載（満足度の高い項目、不満足度の高い項目）

○地区別

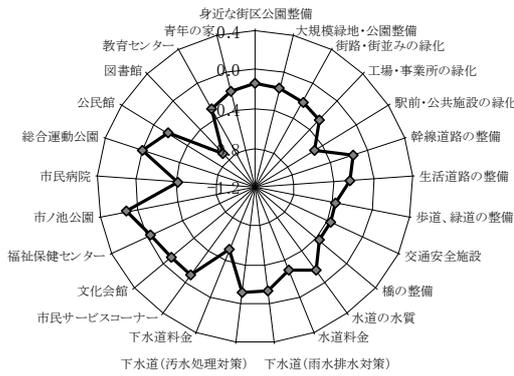
- ・「市ノ池公園」は阿弥陀地区や中筋地区、「総合運動公園」は米田地区と施設が立地している地区周辺において満足度が高い。

○年代別

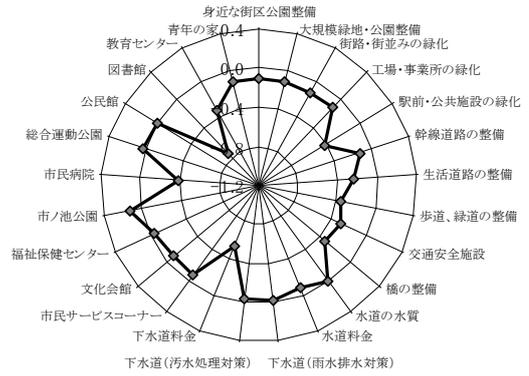
- ・「市ノ池公園」、「総合運動公園」、「水道料金」については若年層での満足度が高い。反対に「街区公園の整備」については若年層で不満足度が高い。

図 居住地域の都市施設評価（市民問9）【地区別】

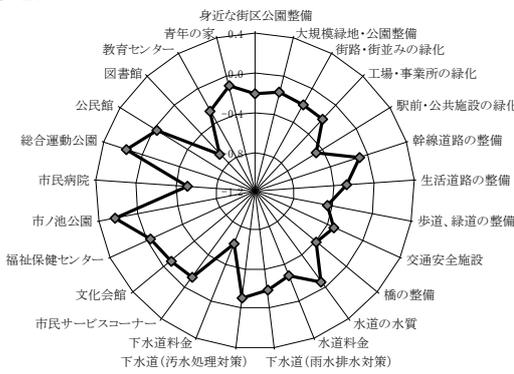
高砂地区(N=269)



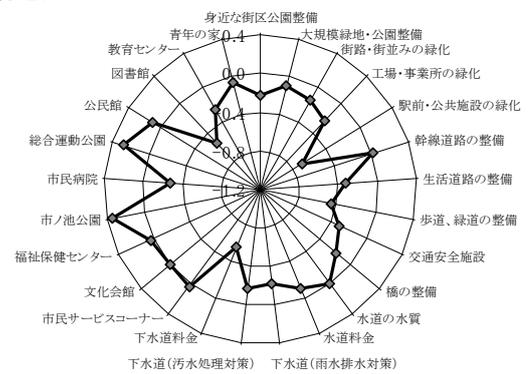
荒井地区(N=249)



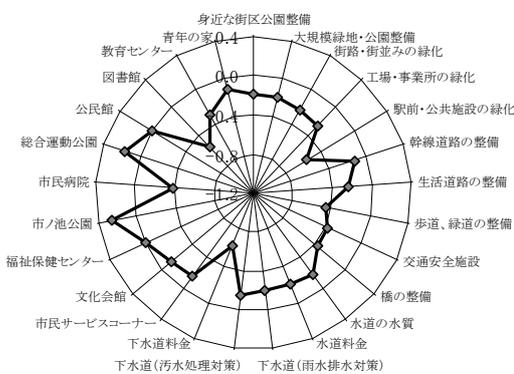
伊保地区(N=318)



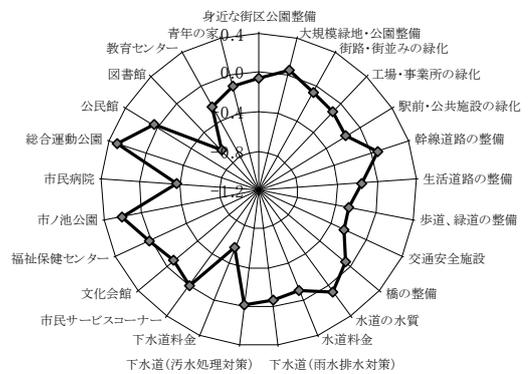
中筋地区(N=111)



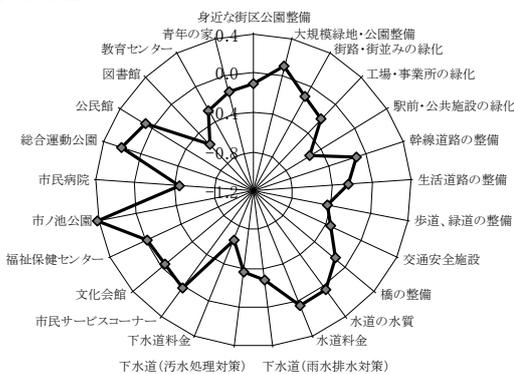
曽根地区(N=245)



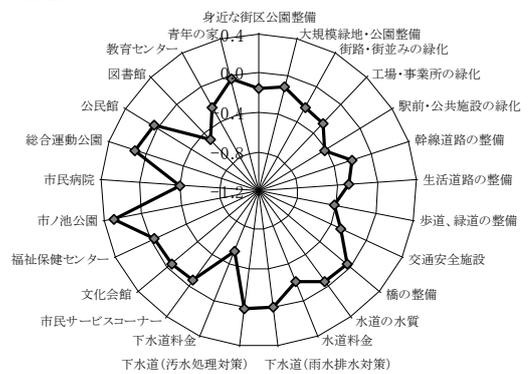
米田地区(N=416)



阿弥陀地区(N=220)



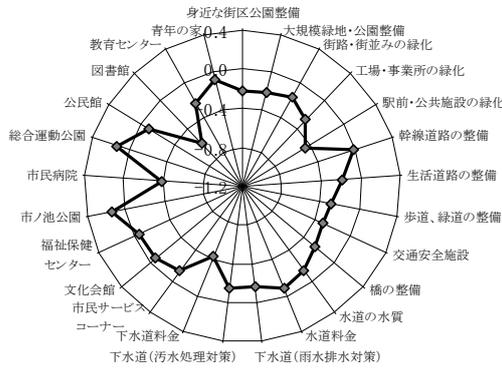
北浜地区(N=104)



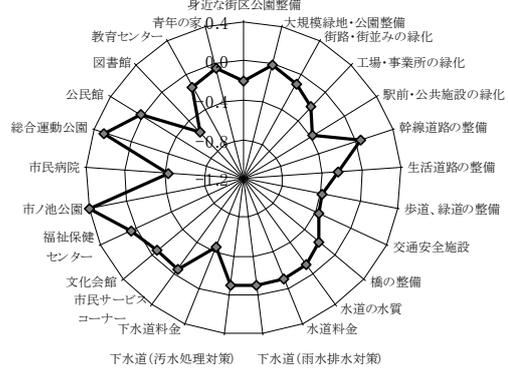
※各項目の数値は、評価を以下のように設定し、選択した回答者数で加重平均した値  
満足=2.0、やや満足=1.0、普通=0.0、不満=-1.0、やや不満=-2.0

図 居住地域の都市施設評価（市民問9）【年代別】

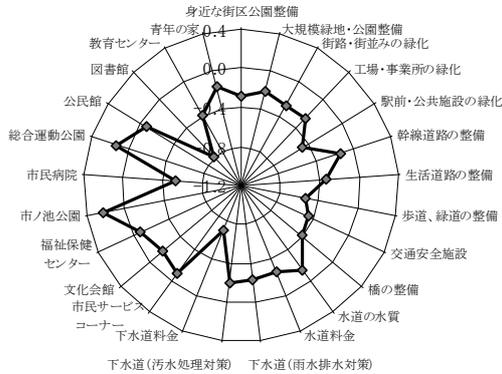
29歳以下(N=247)



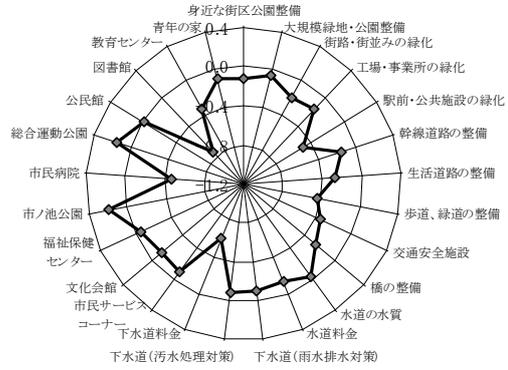
30歳代(N=313)



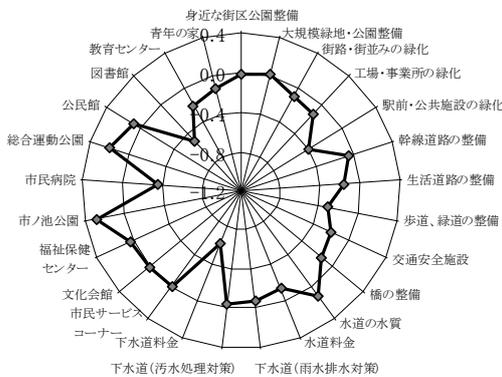
40歳代(N=272)



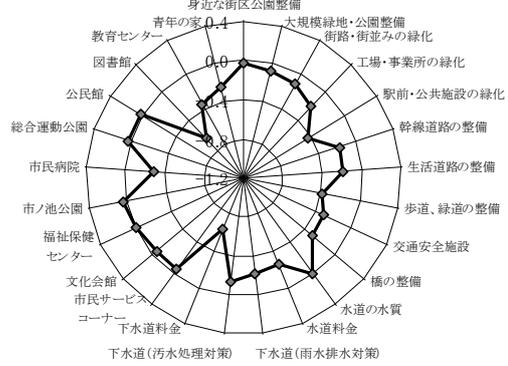
50歳代(N=394)



60歳代(N=447)



70歳以上(N=251)



※各項目の数値は、評価を以下のように設定し、選択した回答者数で加重平均した値  
満足=2.0、やや満足=1.0、普通=0.0、不満=-1.0、やや不満=-2.0

地域の生活環境や都市施設についての不満（市民問 10）

【主な意見】

○安全・安心性について

- ・歩行者や自転車が安全に通行できるように歩道整備や拡幅整備を行う
- ・ガードレール、交差点ミラーの設置を充実させる
- ・通学路の安全を確保する
- ・段差や道路路面上の凹凸等を改善する
- ・街灯の設置を充実させる
- ・台風や豪雨等の災害時の対策を強化する
- ・巡回等による治安対策を強化する

○利便性について

- ・JR曾根駅に南改札を設置し、南側からのアクセス性を改善する
- ・鉄道駅前を整備する
- ・鉄道駅のバリアフリー化（エスカレーター、エレベーター設置）を行う
- ・じょうとんバスの本数や路線を増加し、利便性を高める
- ・子どもが安全に遊べるスペースや公園を整備する
- ・違法駐車取締りを強化する
- ・朝夕の渋滞の改善を図る
- ・鉄道駅前や公共施設に駐車場を整備・拡充する
- ・鉄道駅前に自転車駐輪場を整備し、適切に維持管理する

○快適性について

- ・道路や鉄道駅前の街路樹や緑地を整備する
- ・街路樹等の適切な維持管理を徹底する
- ・ゴミ問題への対策を強化する
- ・河川・溝や工場からの悪臭を改善する
- ・工場や夜間のバイク等の騒音対策を強化する

○都市施設について

- ・身近な公園を整備し、適切な維持管理を徹底する
- ・橋梁を早期に整備する
- ・下水道の整備を促進する
- ・下水道料金を安くする
- ・市民病院の医師不足の改善、診療時間の延長、診療曜日の増加など充実を図る
- ・既存図書館の蔵書を増やし、開館時間を延長するなど充実を図る
- ・各地区に図書館を整備する
- ・教育センターを充実し、もっと地域の人が利用できるようにする
- ・スポーツ施設等を整備する
- ・市民サービスコーナーは休日も利用できるようにする
- ・公共施設の職員の市民等への対応を改善する

(2) まちのイメージと将来像

①高砂市の魅力

図 高砂市の魅力（市民問 11）

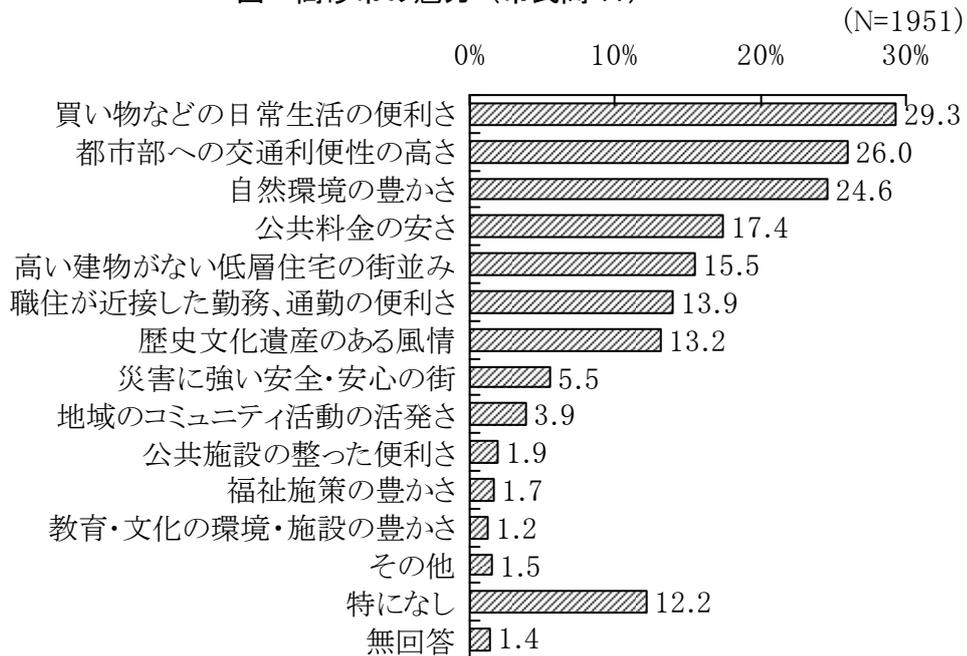
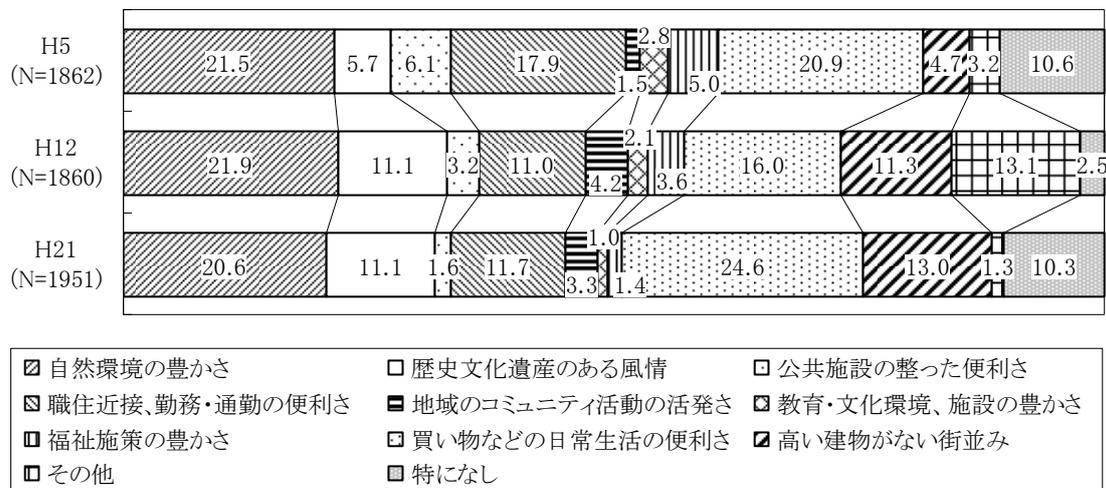


図 高砂市の魅力（市民問 11・過年度調査）【経年変化】



※H5は1つ選択、H12、H21は2つまで選択可能なため、単純比較はできない  
 ※H5、H12の選択肢にはない以下の3項目と、H12には記載のない「無回答」を除く  
 「都市部への交通利便性の高さ」、「災害に強い安全・安心の街」、「公共料金の安さ」  
 ※H21の値は、100分率とした場合の値であるため、上図の値とは異なる

- ・市の魅力としては、「日常生活の便利さ」、「交通利便性の高さ」、「自然環境の豊かさ」が多い。
- ・前回、前々回と比較し、「日常生活の便利さ」、「高い建物がない街並み」を魅力とする割合が増加している。
- ・阿弥陀地区では「自然環境の豊かさ」、伊保地区や荒井地区では「日常生活の便利さ」を魅力とする人が多い。
- ・年代別では、「自然環境の豊かさ」、「日常生活の便利さ」は高年層、「勤務・通勤の便利さ」、「公共料金の安さ」は若年層で魅力を感じる割合が多い。

②高砂市の将来像

図 将来の望ましい都市像（市民問 12）

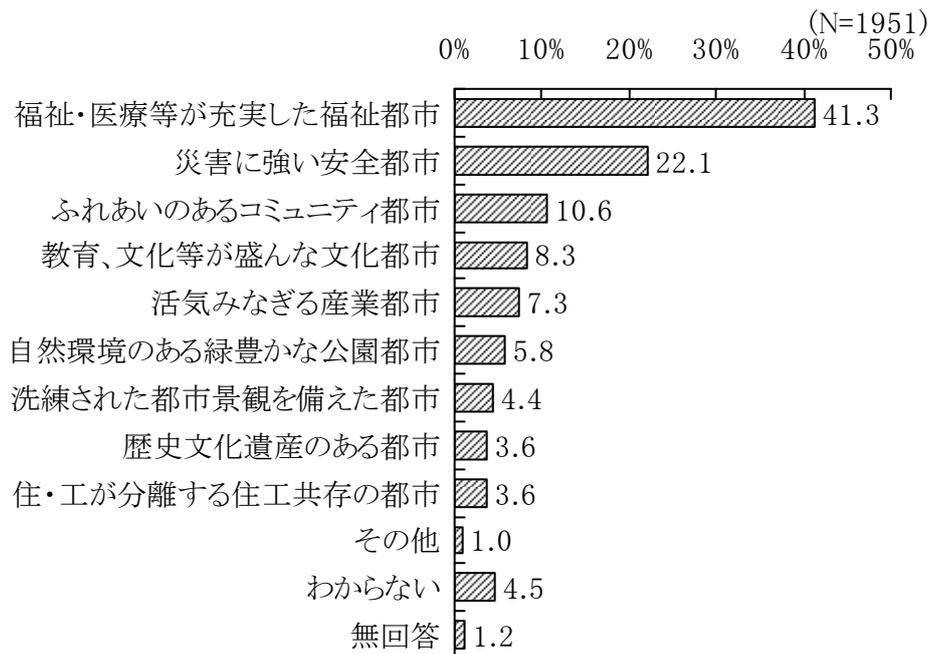
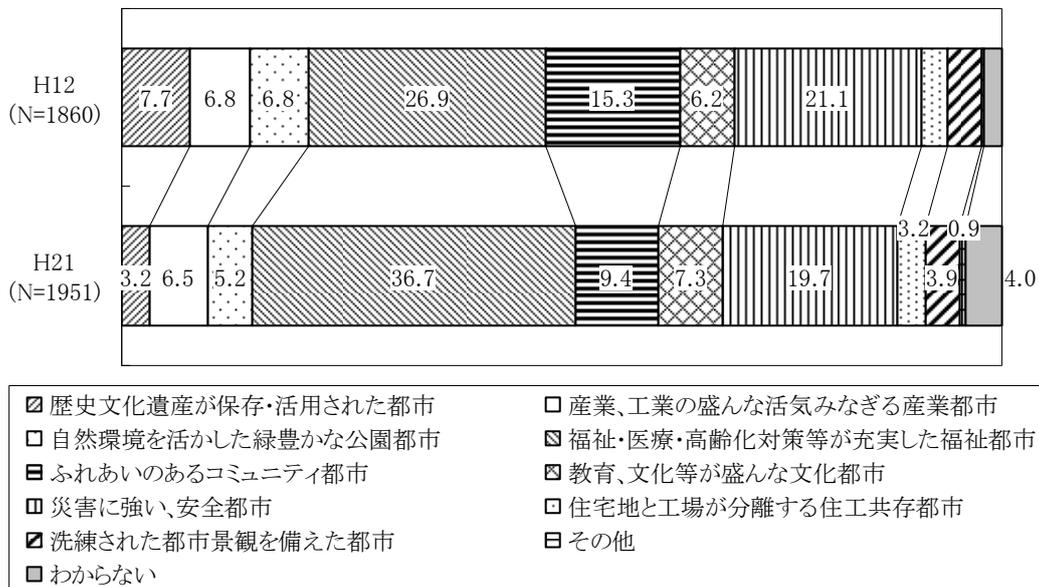


図 将来の望ましい都市像（市民問 12・過年度調査）【経年変化】



※H5 は、H12、H21 と大きく選択肢が異なることから除く

※H12 において、一部数値が不明のため記載を省略する

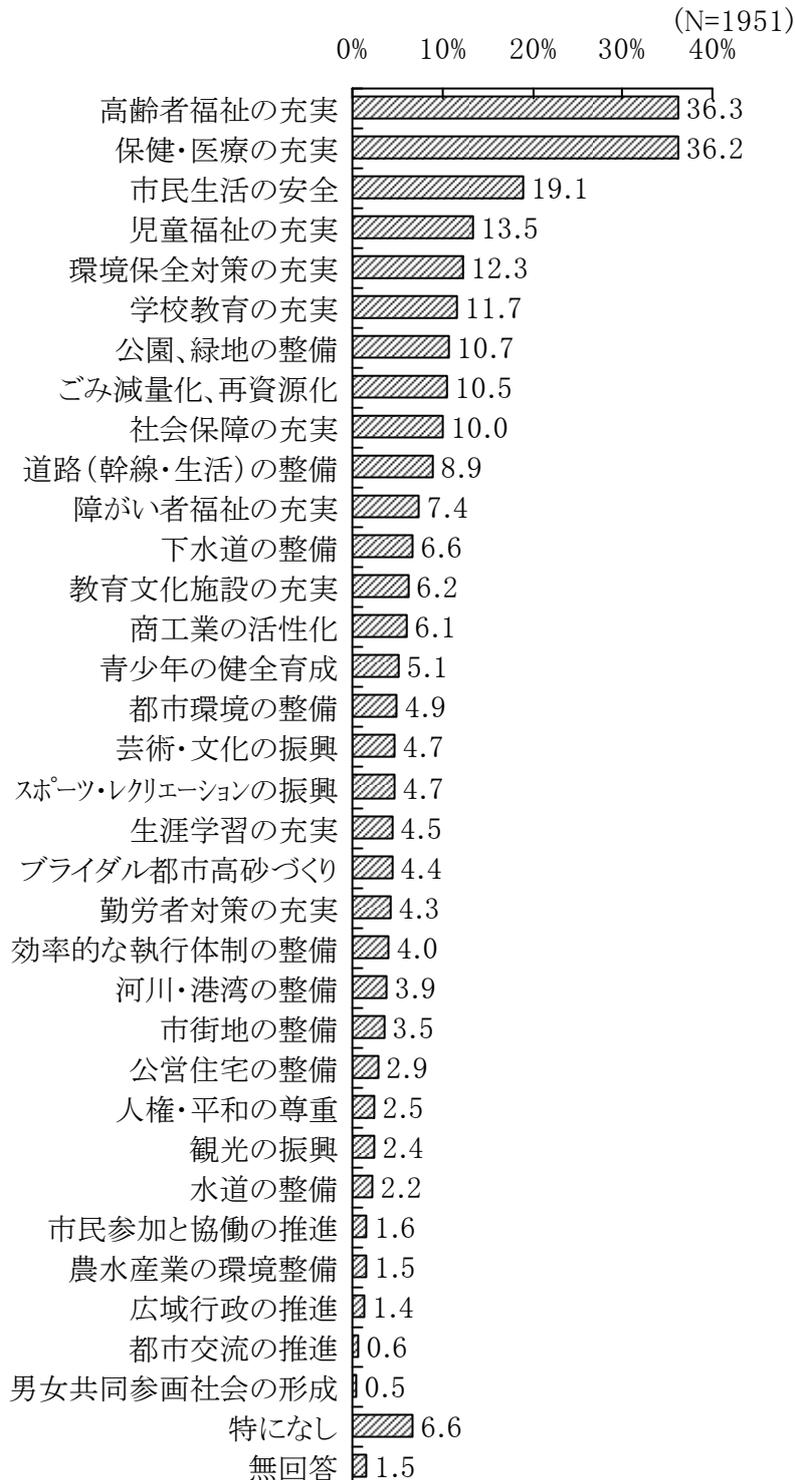
※H21 の値は、100 分率とした場合の値であるため、上図の値とは異なる

- ・将来の望ましい都市像として、「福祉・医療等が充実した福祉都市」が約 4 割と最も望まれており、次いで「災害に強い安全都市」となっている。
- ・経年変化をみると、「福祉・医療等が充実した福祉都市」、「教育、文化等が盛んな文化都市」を望む割合が増加している。
- ・前回、前々回と比較し、「福祉・保健・医療・高齢化対策が充実した福祉都市」を望む割合が増加している。

(3) 今後のまちづくり

①特に関心のある主要施策

図 特に関心のある主要施策（市民問13）



- ・関心のある施策として「高齢者福祉の充実」、「保健・医療の充実」が約3割強と関心が高く、次いで「市民生活の安全」、「児童福祉の充実」、「環境保全対策の充実」となっている。
- ・ハード整備への関心は低く、福祉や医療などソフト施策への関心が高まっている。

②今後力を入れるべき取組み

図 今後整備していくべき施設（市民問 14）

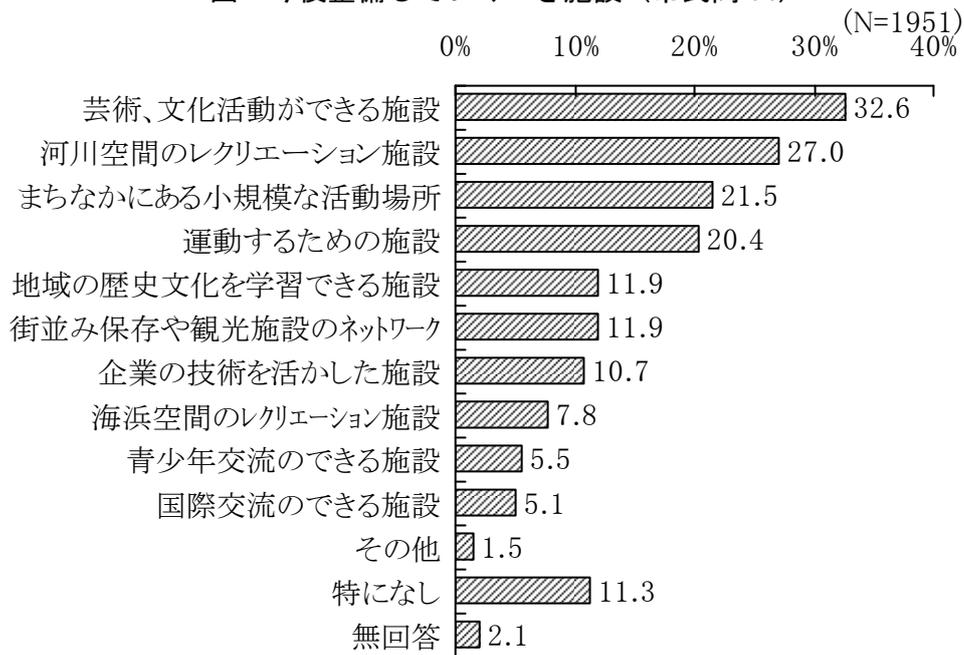
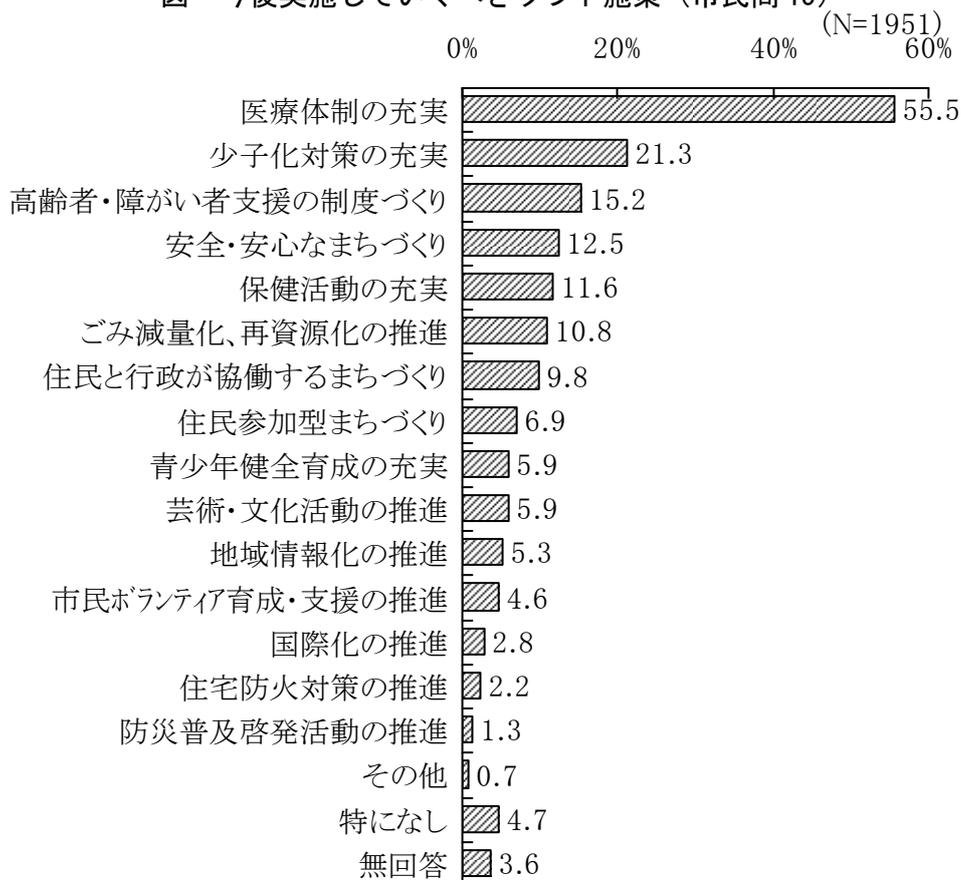


図 今後実施していくべきソフト施策（市民問 15）



- ・ 今後整備していくべき施設として、「芸術、文化活動ができる施設」、「河川空間等のレクリエーション施設」が多い。
- ・ 今後実施していくべきソフト施策については、半数以上が「医療体制の充実」をあげている。

## 2. 事業所アンケート（共通）

### 2.1 調査結果の概要

#### (1) 調査の概要

調査時期	・平成 21 年 7 月		
調査対象	・高砂市内の事業所 500 社を無作為に抽出		
調査方法	・郵送配布及び郵送回収		
回収率等	配布数	回収数	回収率
	500	298	59.6%

#### (2) 事業所の属性

図 事業所の所在地

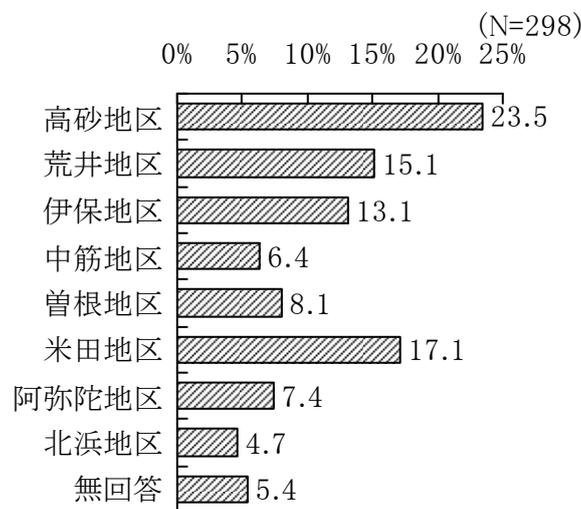
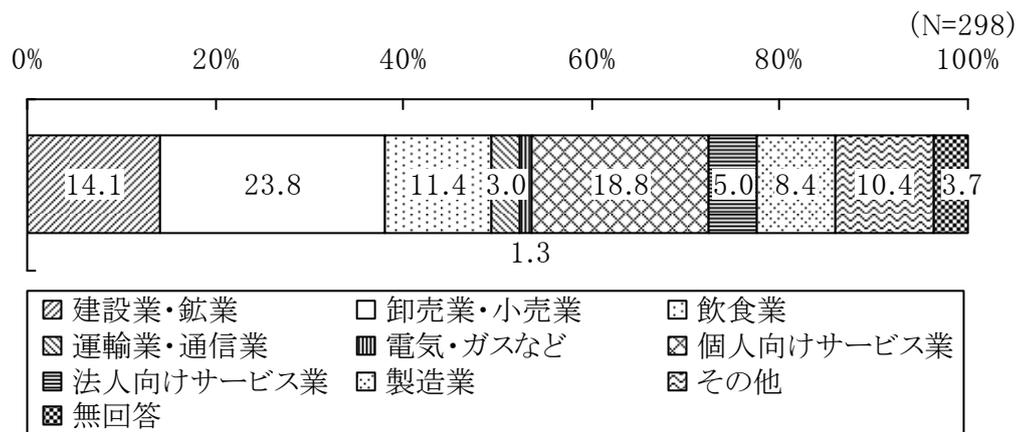


図 業種割合



- ・アンケート調査票の回収率は 59.6%である。  
(参考：H5 調査 57.6%、H12 調査 69.2%)
- ・所在地別では「高砂地区」、「米田地区」の事業所が多く、業種別では「卸売業・小売業」、「個人向けサービス業」が多い。

図 業種形態

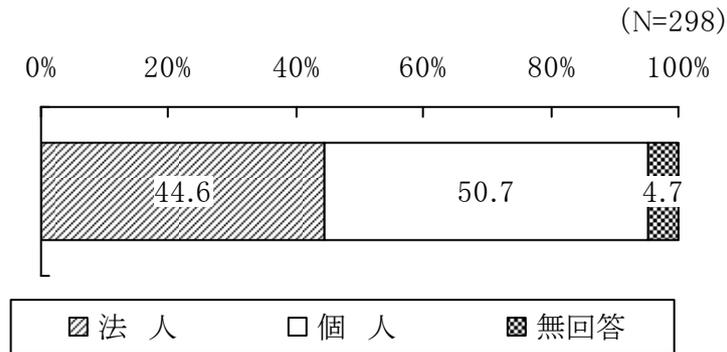


図 敷地所有形態

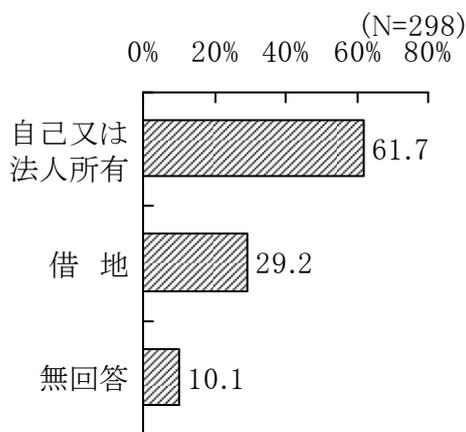


図 建物所有形態

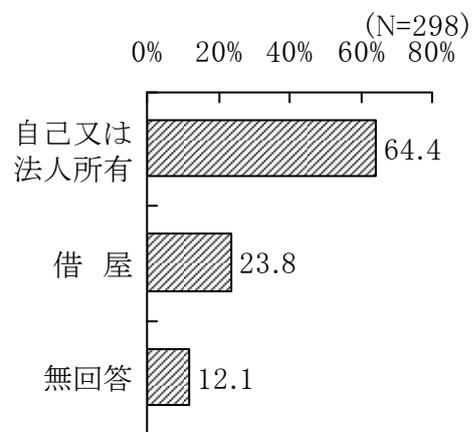
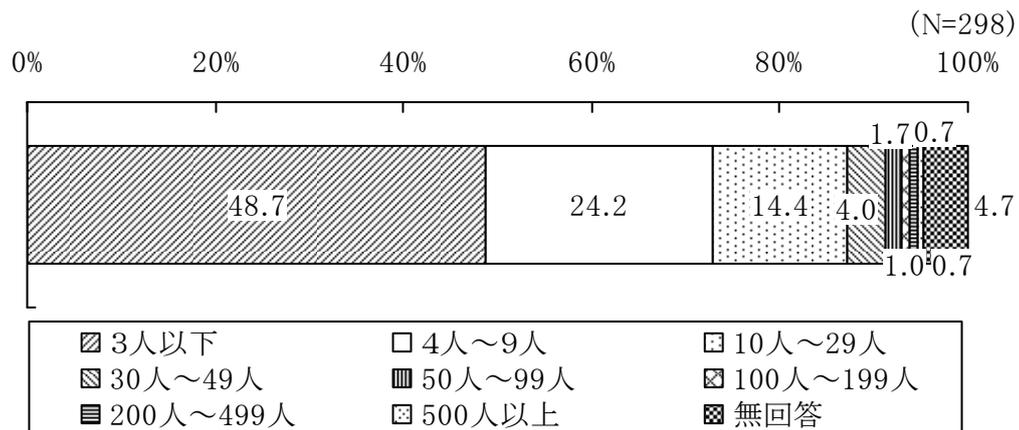


図 従業員数 (パート含む)

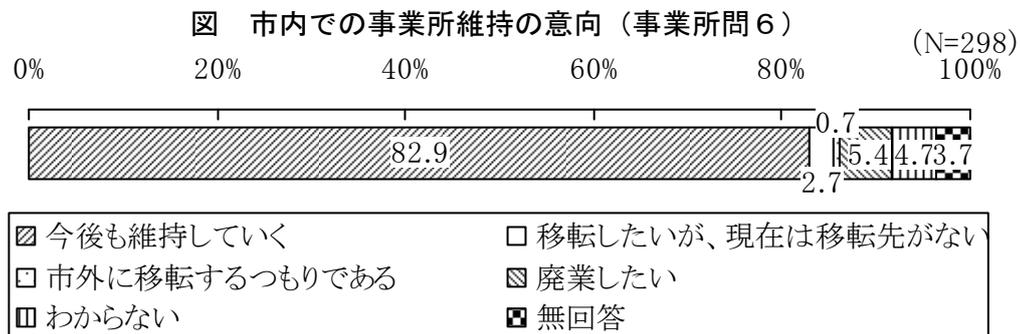


- ・事業所の業種形態は「法人」と「個人」が約半数ずつである。
- ・事業所の敷地・建物所有形態は、6割以上が「自己又は法人所有」である。
- ・事業所の従業員数は、約半数が「3人以下」であり、「4人～9人」を含む10人未満の零細企業が約7割を占める。

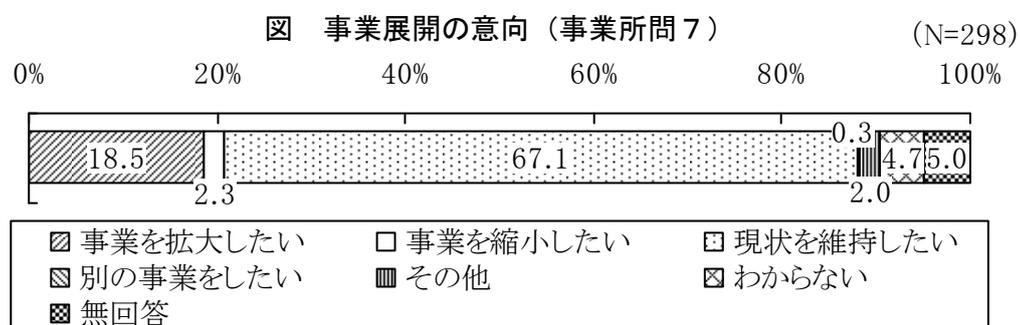
## 2.2 調査結果

### (1) 現在の高砂市について

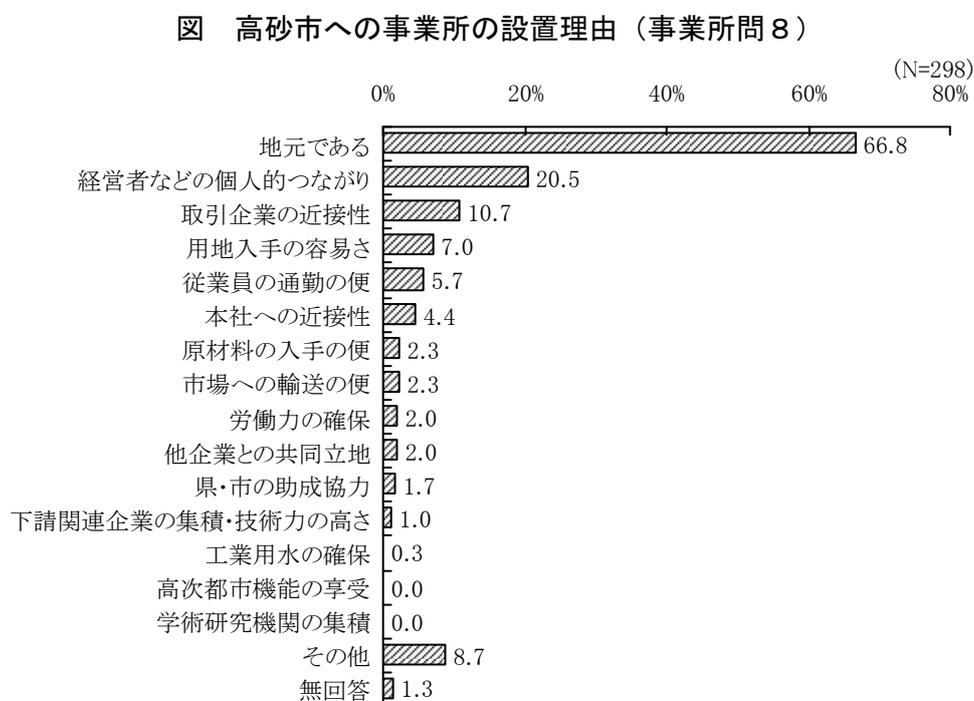
#### ①高砂市内での事業所の維持



#### ②今後の事業展開



#### ③高砂市への事業所の設置理由



- ・ 8割以上の事業所が「今後も高砂市内で現状を維持」していく意向である。
- ・ 事業所の約7割が現状維持、約2割が事業拡大を希望している。
- ・ 高砂市への事業所の設置理由としては、「地元である」が約7割と多い。

④高砂市の生活環境

図 高砂市の生活環境評価（事業所問9）



○全体の評価

・高砂市の生活環境として、22項目中、満足度が高いのは11項目、不満度が高いのも11項目である。

○満足度が高い項目

・特に満足度が高い項目は、「火災・救急・救助への対策」、「ごみ収集、一般廃棄物・産業廃棄物対策」、「交通機関（JR/山陽電鉄）」であり、「金融機関の立地」も比較的高い。

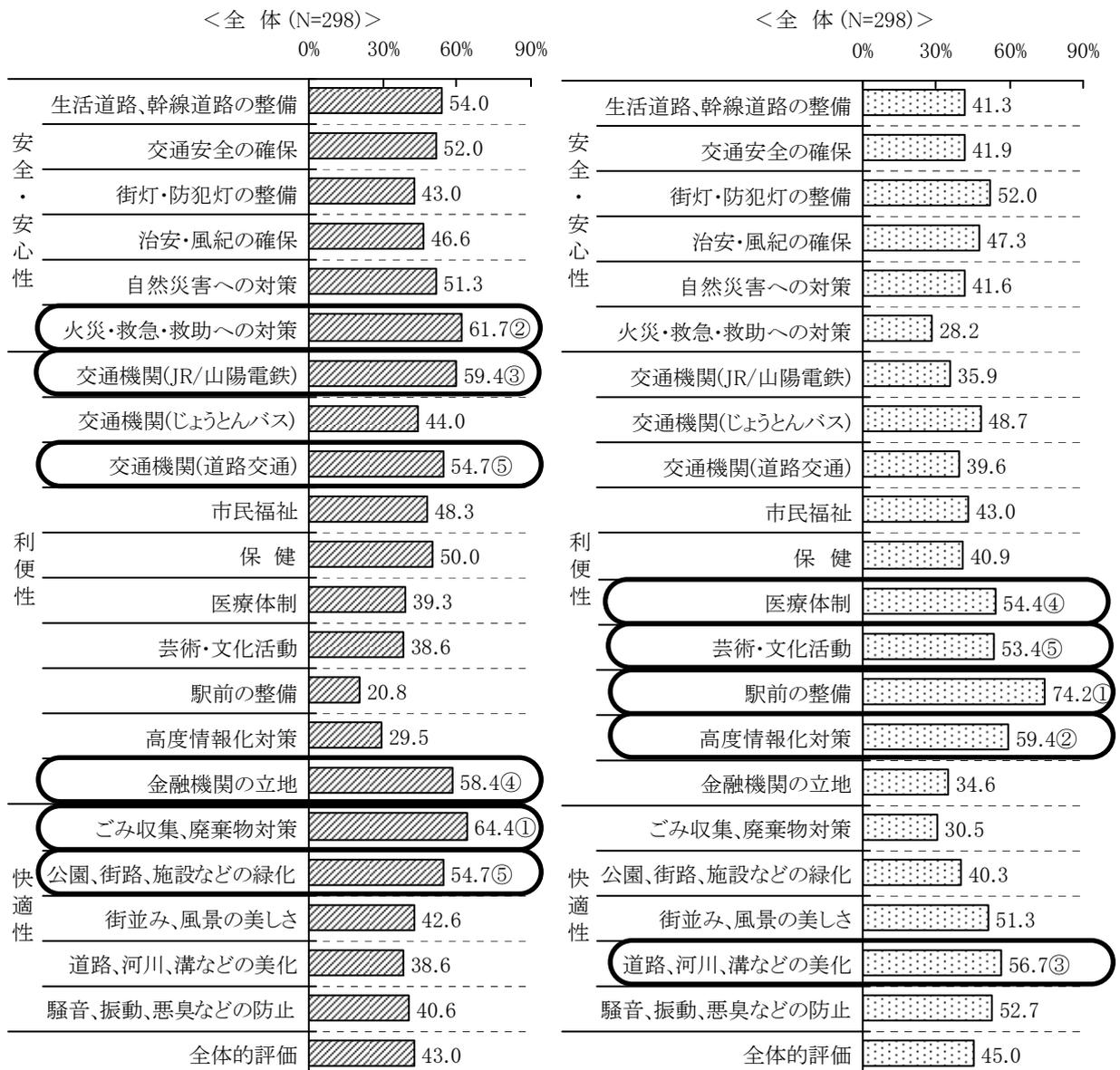
○不満度が高い項目

・特に不満度が高い項目は、「駅前の整備」、「高度情報化対策」、「芸術・文化活動」、「道路、河川、溝などの美化」、であり、「医療体制」、「騒音、振動、悪臭の防止」も比較的高い。

図 高砂市の生活環境評価（事業所問9）【ランク付け】

〔満足度〕

〔不満足度〕



※各項目の数値は、以下のように評価値を合算した値

〔満足度〕 = 「最適」 + 「適」

〔不満足度〕 = 「不適」 + 「やや不適」

※①～⑤は、合算値の上位項目に記載（満足度の高い項目、不満足度の高い項目）

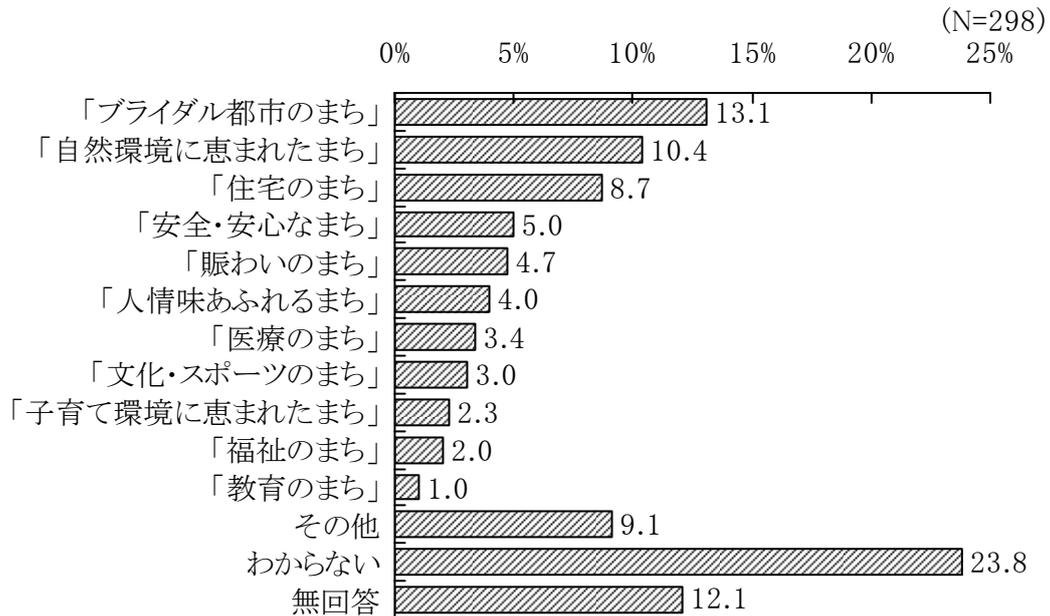
○地区別

- ・「交通機関（JR／山陽電鉄）」については、高砂地区や伊保地区で満足度が高いが、中筋地区では不満足度が高い。

(2) まちのイメージと将来像

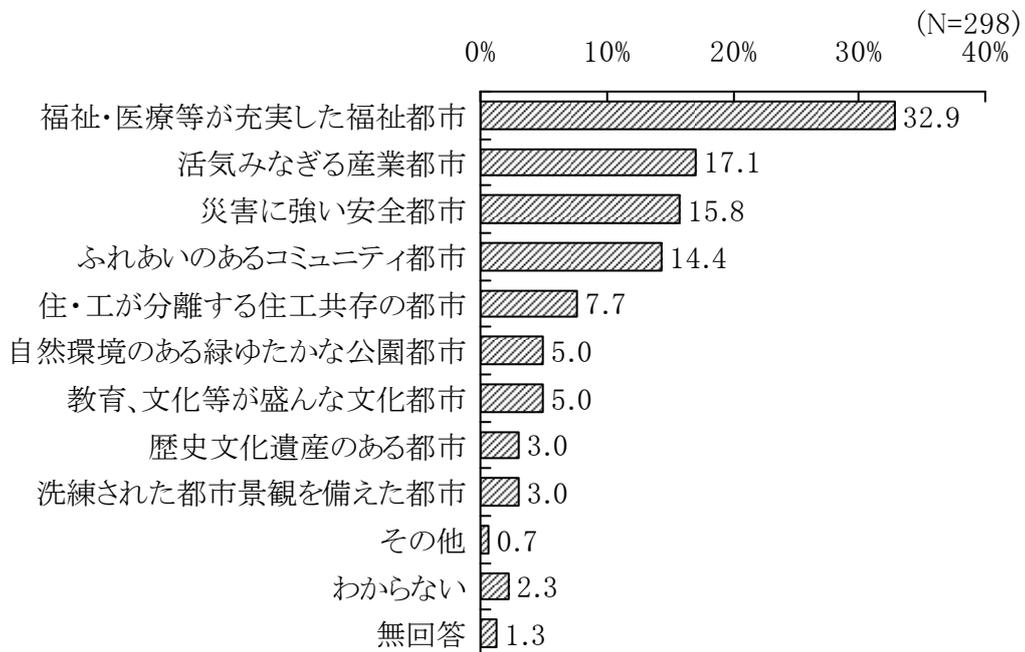
①高砂市のイメージ

図 高砂市のイメージ（事業所問 22）



②高砂市の将来像

図 将来の望ましい都市像（事業所問 10）

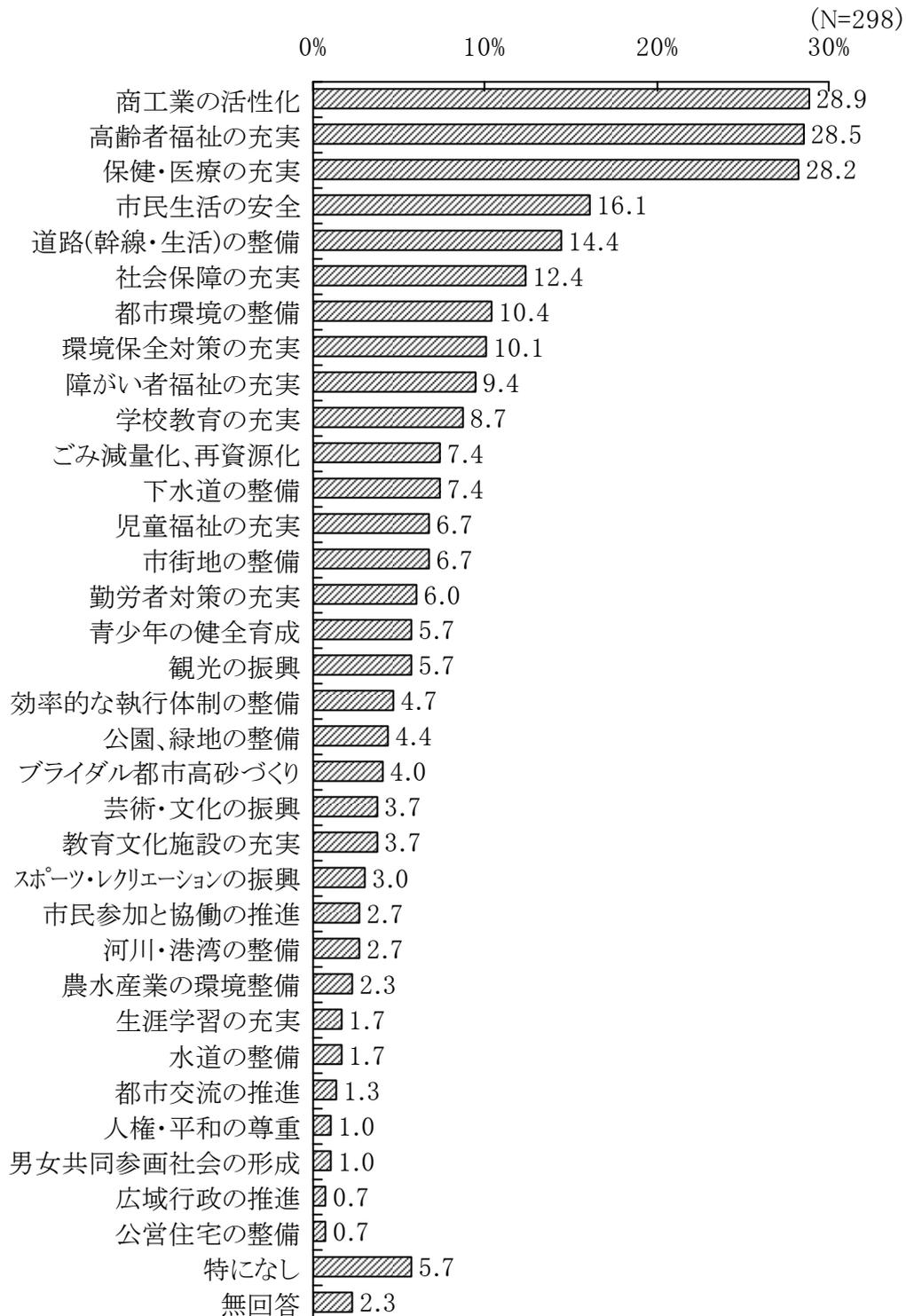


- ・高砂市のイメージとしては、「ブライダル都市のまち」、「自然に恵まれたまち」が多いが、「わからない」という意見が最も多く約2割強である。
- ・その他の意見として、「昔の活気がなく中途半端」、「良いイメージがない」など悪いイメージがあげられた。
- ・将来の望ましい都市像としては、「福祉・医療等が充実した福祉都市」が最も望まれており、次いで「産業、工業の盛んな活みなぎる産業都市」となっている。

(3) 今後のまちづくり

○特に関心のある主要施策

図 特に関心のある主要施策（事業所問 11）



- ・特に関心のある主要施策として「商工業の活性化」、「高齢者福祉の充実」、「保健・医療の充実」が約3割と多い。
- ・前回、前々回では「商業の活性化」に加え「生活、幹線道路の整備」、「下水道、水路の整備」が上位を占めていたが、本調査では時代を反映して、将来の都市像と同様「福祉や医療」への関心が高まっている。

## 3. 調査結果（部会別）

## (1) 環境について

図 リサイクル・ごみ減量化に効果的な対策（市民問 18）

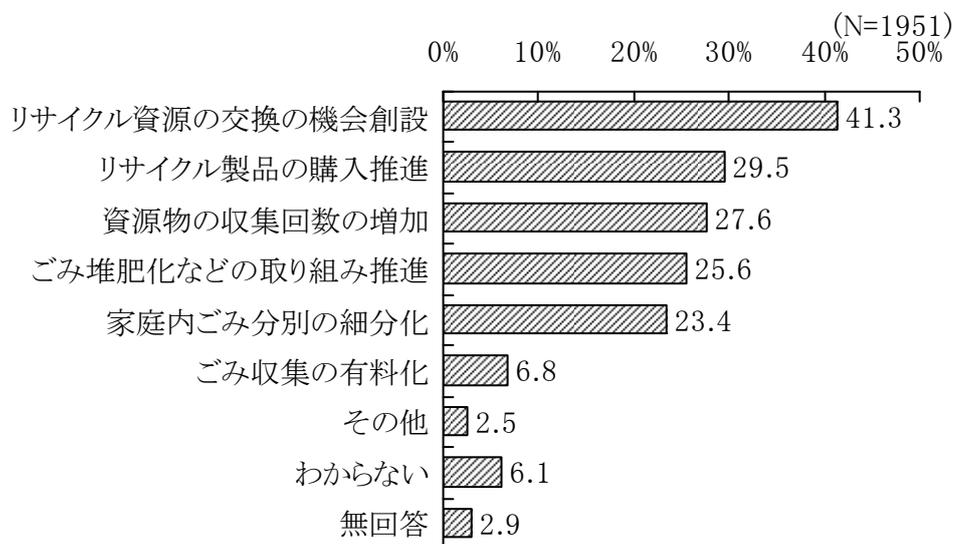
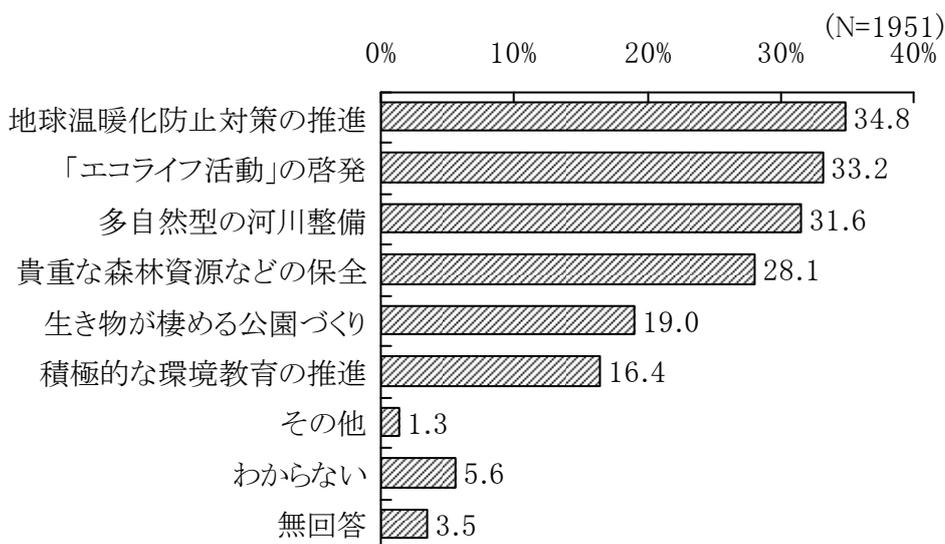


図 環境にやさしいまちづくりに重要な施策（市民問 19）



## ○リサイクル・ごみ減量化に効果的な対策

- ・「リサイクル資源の交換機会の創出」が効果的とする割合が最も多く、次いで「リサイクル製品の購入推進」、「資源物の収集回数の増加」が多い。
- ・「その他」として、「ごみの分別やポイ捨てに対する市民意識の向上が重要」とする意見が多くあげられた。

## ○環境にやさしいまちづくりに重要な施策

- ・「地球温暖化防止対策」、「エコライフ活動」、「多自然型の河川整備」、「森林資源の保全」が約3割ずつと多い。
- ・「エコライフ活動」については高年層、「地球温暖化防止対策」については若年層で重要とする割合が多い。

(2) 産業について

①事業所について

図 昨年からの業況の変化（事業所問 13）

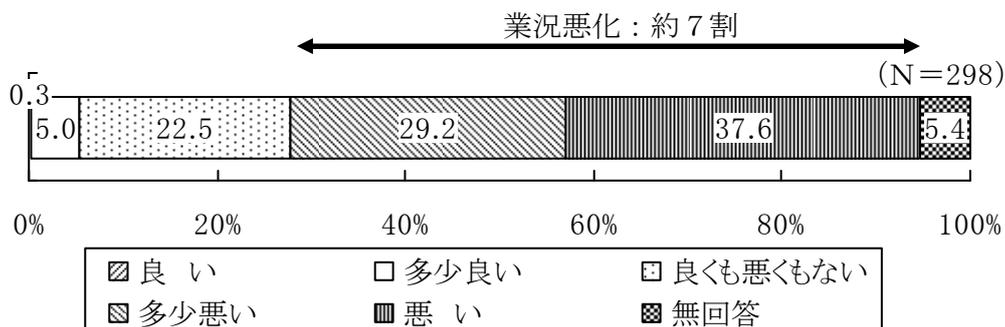
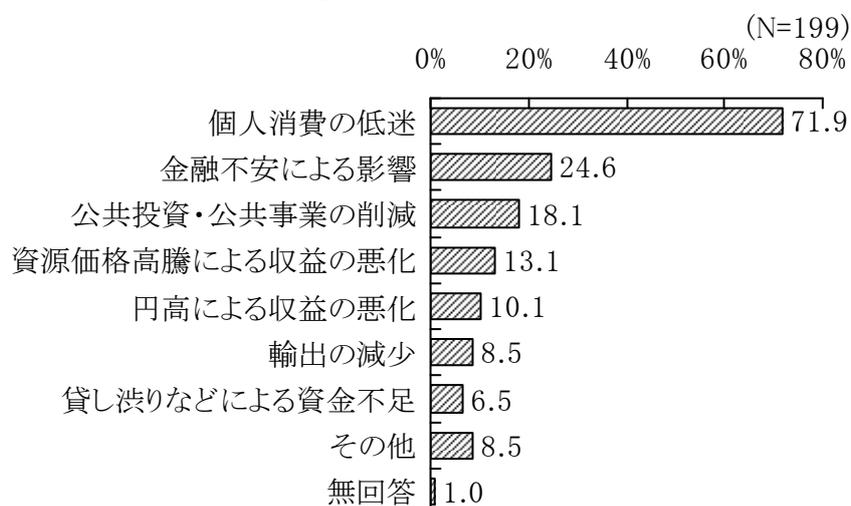
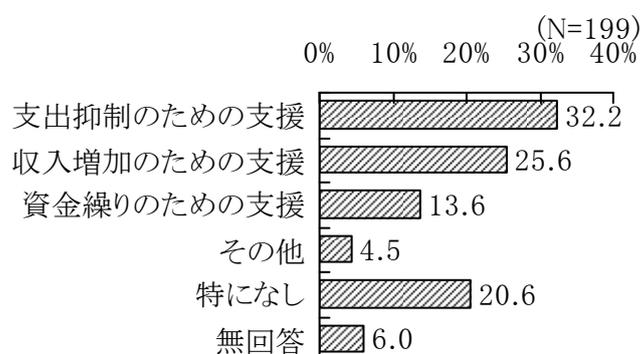


図 業況悪化の原因（事業所問 13）



※昨年からの業況の変化で「多少悪い」、「悪い」と回答した事業所のみ

図 行政に望む業況悪化の打開策（事業所問 13）



※昨年からの業況の変化で「多少悪い」、「悪い」と回答した事業所のみ

○事業所について

- ・事業所の約7割が業況は「多少悪い」、「悪い」としており、そのうちの約7割が「個人消費の低迷」を業況悪化の原因として考えている。
- ・打開策としては「減税など支出抑制のための支援」が最も望まれている。

②工業について

図 高砂市の工業の現状（事業所問 14）

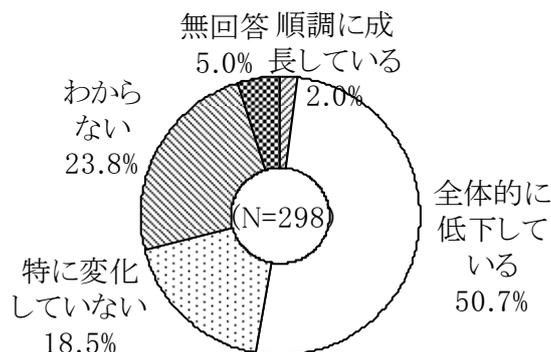


図 工業の望ましい将来像（事業所問 15）

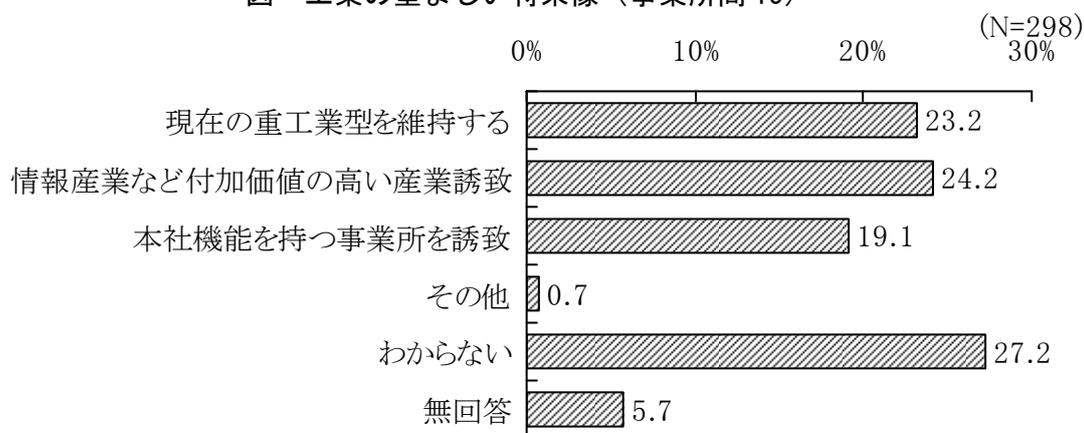
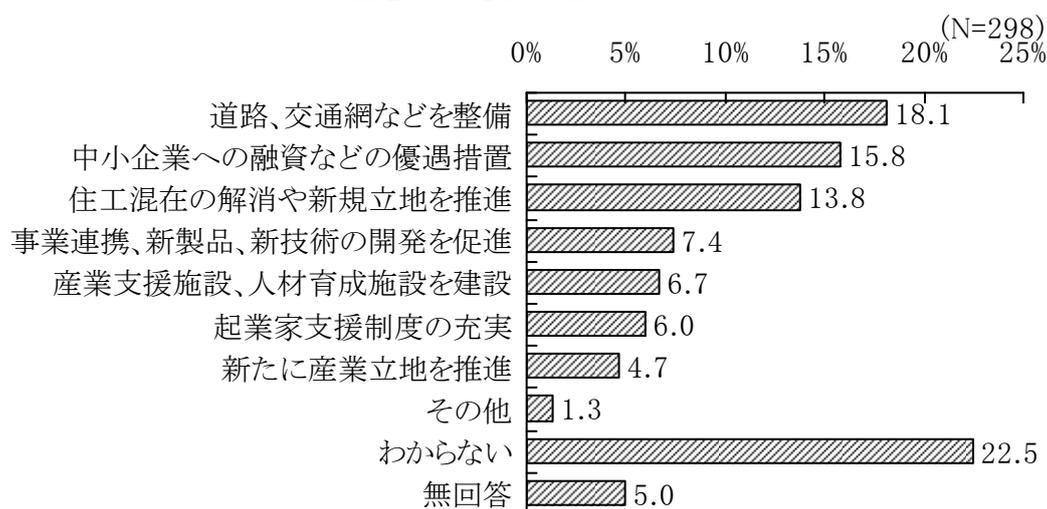


図 市に望む工業発展の施策（事業所問 16）



○工業について

- ・工業の現状は「全体的に低下している」とする事業所が半数を占めている。
- ・望ましい工業の将来像は「情報産業などの付加価値の高い産業誘致」、「現在の重工業型を維持」、「本社機能を持つ事業所を誘致」が約2割と意見が分かれる。
- ・工業発展の施策として「道路、交通網などを整備」や「中小企業への融資など優遇措置」が望まれている。

## ③商業について

図 高砂市の商業の現状（事業所問 17）

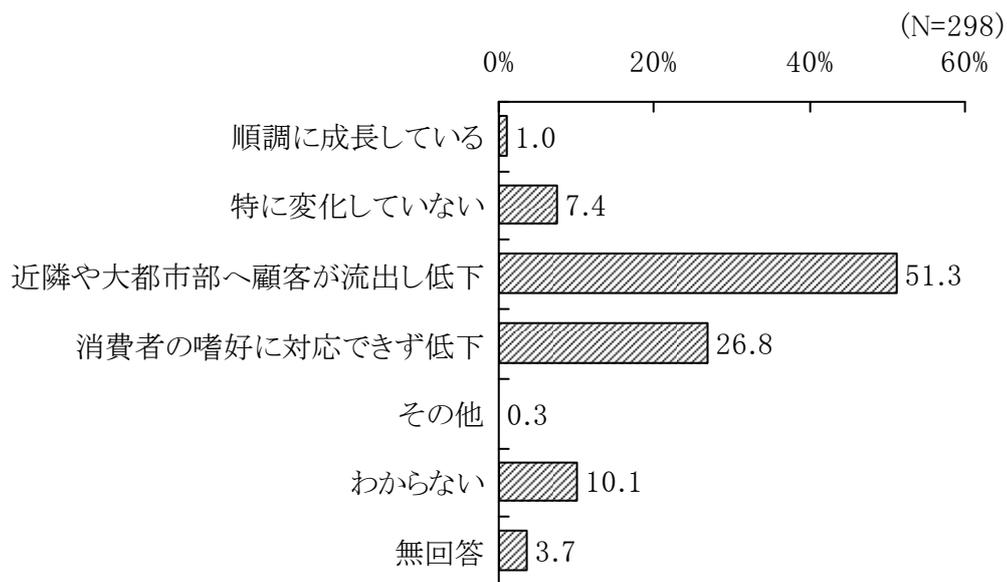
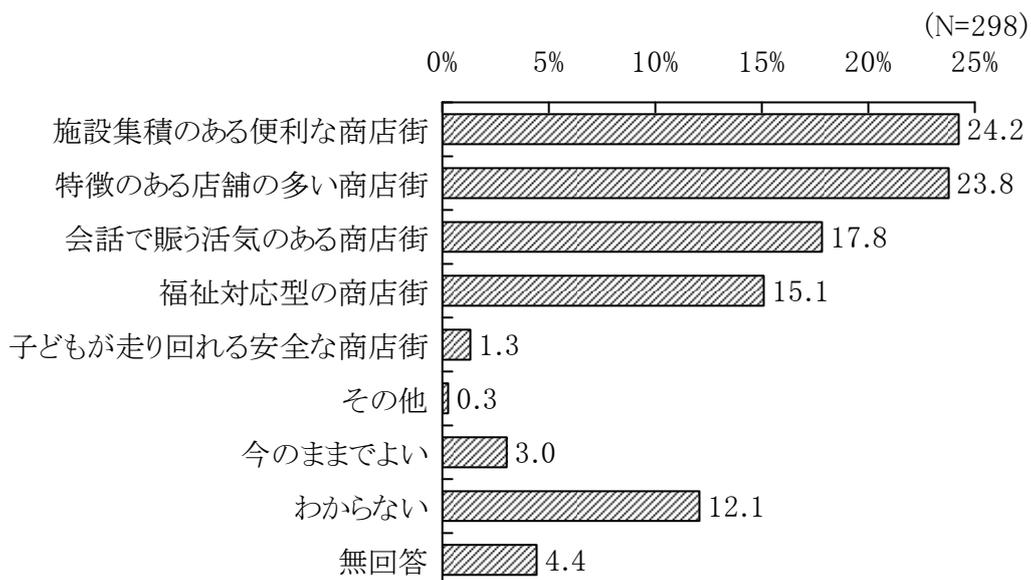


図 商店街の望ましい将来像（事業所問 18）



## ○商業について

- ・商業の現状は「近隣や大都市部などへ顧客が流出し低下している」と判断する事業所が半数を占めている。
- ・「多様な施設が集積した、便利な商店街」、「独自商品販売など特徴ある店舗の多い商店街」、「人々の会話で賑わっている、活気ある商店街」が約2割と望ましい商店街の将来像が分かれる。

図 今後の商業施設へのニーズ（市民問 23）

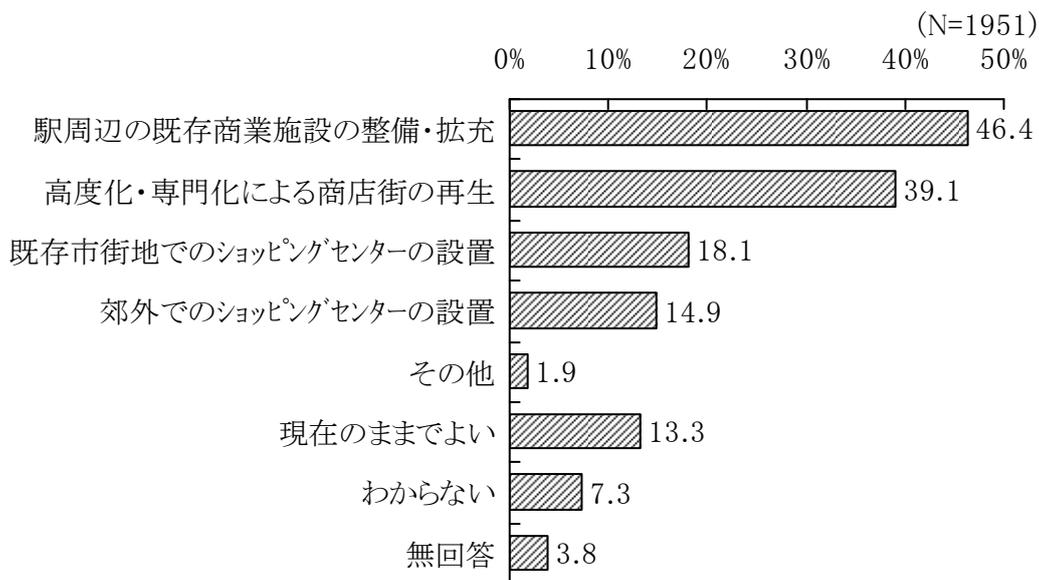
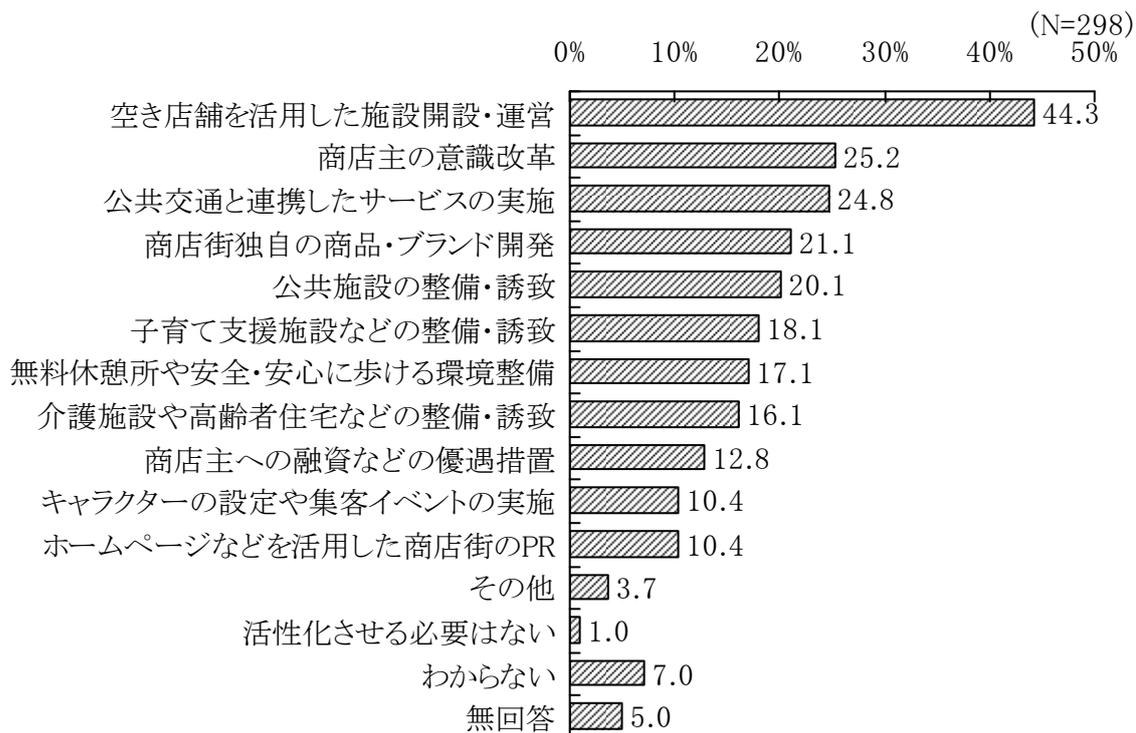


図 商店街活性化の有効な施策（事業所問 18）



## ○商業について

- ・ 今後の高砂市の商業施設としては、大規模ショッピングセンターの設置より、駅周辺既存商業施設や商店街の整備・拡充を望む意見が多い。
- ・ 商店街活性化の有効な施策としては「空き店舗を活用した施設開設・運営」が約4割強と最も多く、次いで「商店主の意識改革」、「公共交通と連携したサービスの実施」が多い。

## ④農林水産業について

図 農林水産業の現状（事業所問 20）

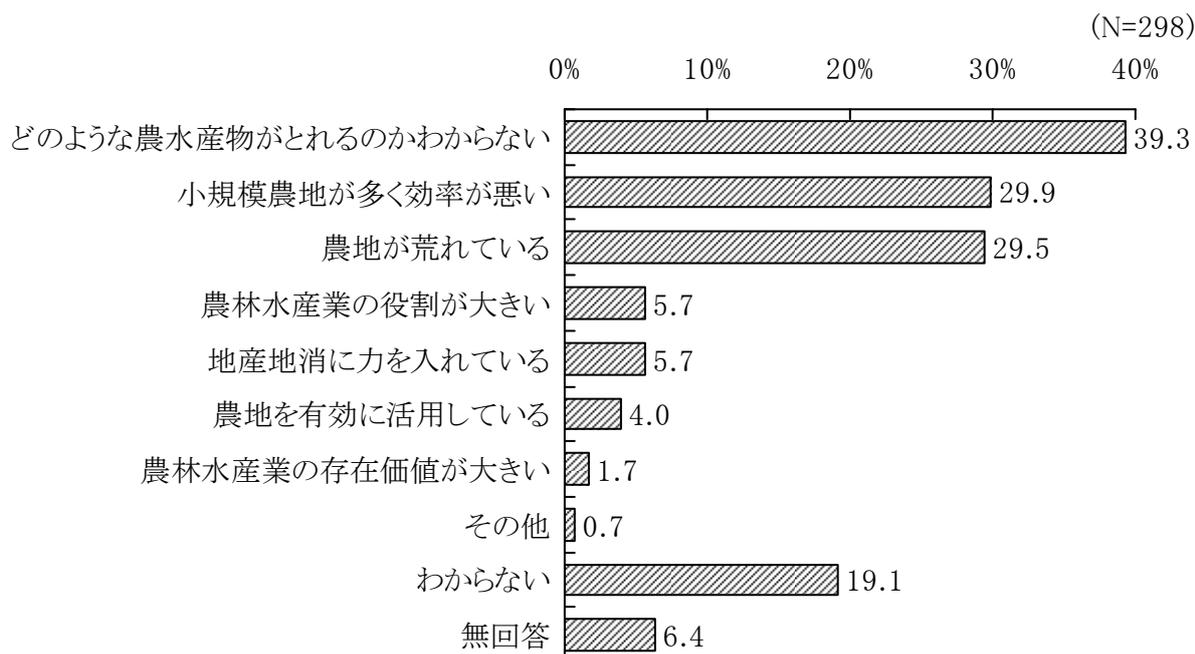
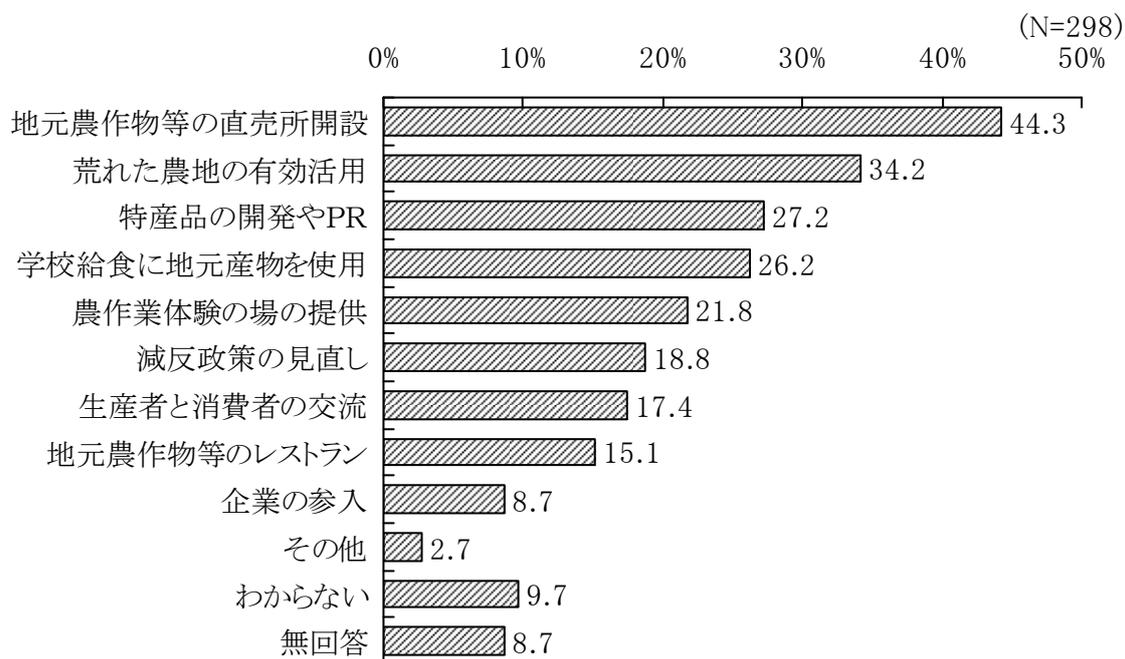


図 農林水産業の活性化の有効な取組み（事業所問 21）

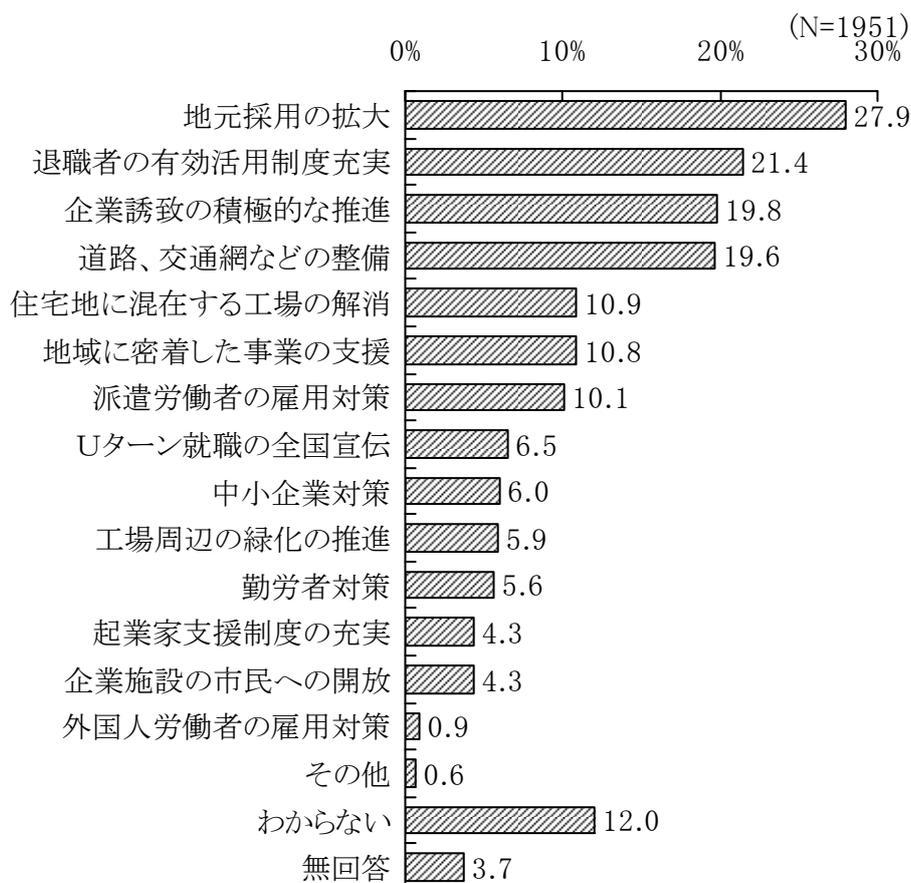


## ○農林水産業について

- ・農林水産業の現状については「高砂市でどのような農水産物がとれるのかわからない」が約4割と最も多く、次いで「小規模で効率が悪い」、「農地が荒れている」が多い。
- ・「地元産の農産物や水産物を購入できる直売所の開設」が最も多く、次いで「荒れた農地の有効活用」、「特産品の開発やPR」が多い。

## ⑤産業施策について

図 産業政策における重点施策（市民問24）



## ○産業施策について

- ・「地元採用の拡大」を重視する割合が最も多く、次いで「退職者の有効活用制度充実」、「道路・交通網などの整備」が多い。
- ・「退職者の有効活用制度充実」については高年層、「道路・交通網などの整備」については若年層が多い。

(3) 都市計画について

図 今後の市全体のまちづくり（市民問 26）

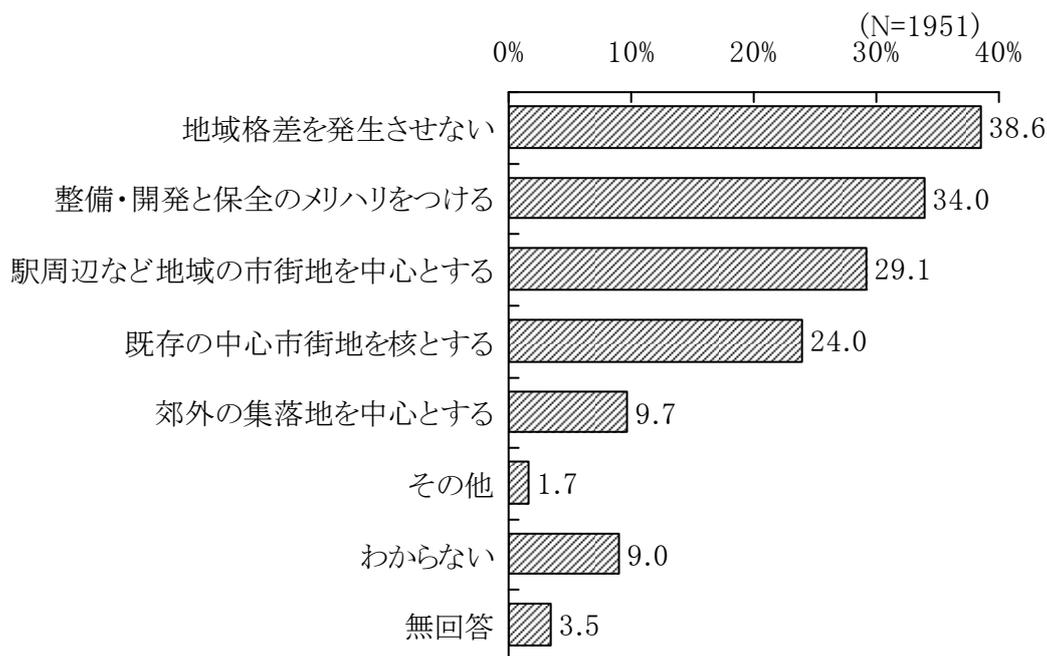
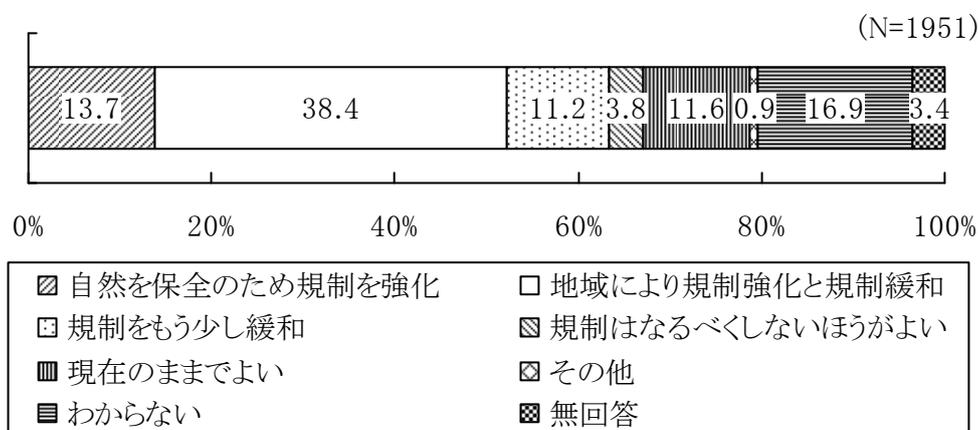


図 土地利用の規制の方向（市民問 27）



○今後の市全体のまちづくり

- ・「地域格差が生じないようなまちづくり」と「メリハリをつけたまちづくり」が約3割強と多く、意見が分かれる。
- ・「地域格差が生じないようなまちづくり」については、女性や高年層の方が望む割合が多い。
- ・「メリハリをつけたまちづくり」については男性や若年層の方が望む割合が多い。

○土地利用の規制の方向

- ・「規制すべき地域は規制強化し、発展・活性化を行う地域は規制緩和」の方向を望む割合が最も多い。

図 高砂市全体に必要な都市基盤・都市施設（市民問 28）

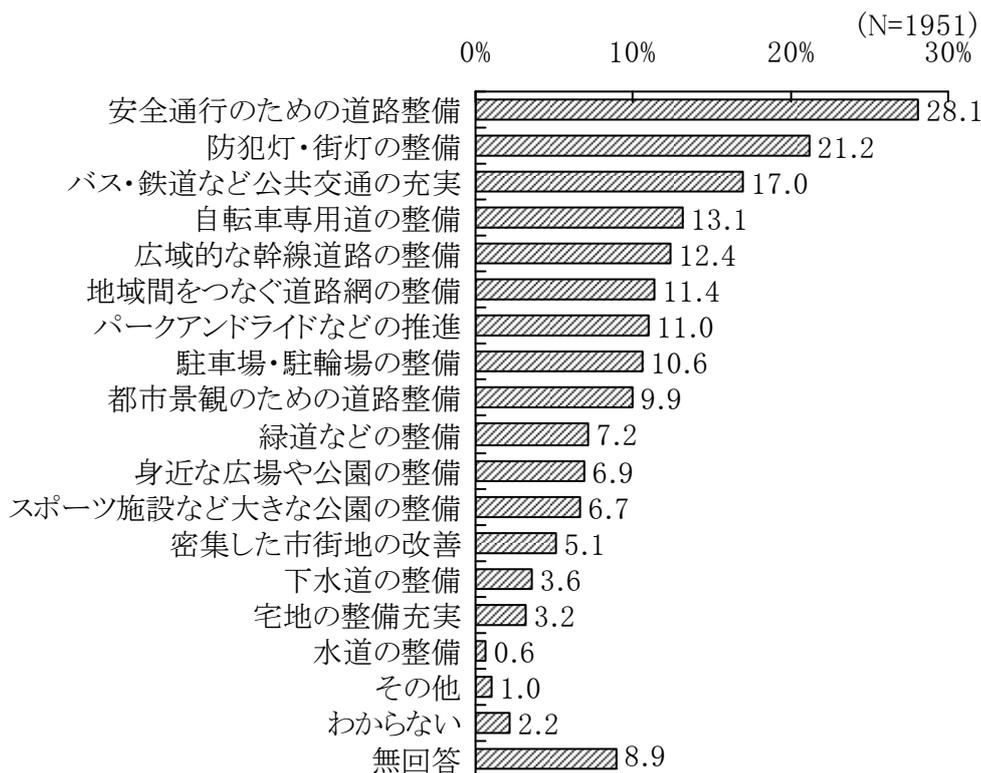
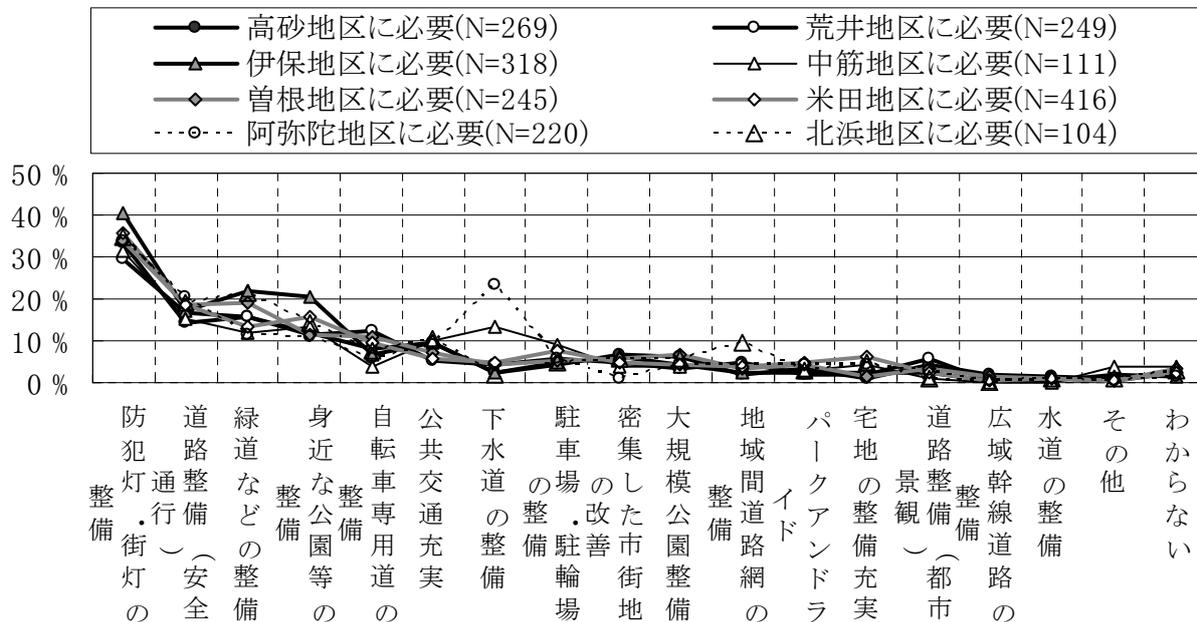


図 居住地区に必要な都市基盤・都市施設（市民問 28）



○高砂市全体に必要な都市基盤・都市施設

- ・「歩行者・自転車の安全な通行のための道路整備」を必要とする割合が最も多く、次いで「防犯灯・街灯の整備」、「公共交通の整備」が多い。

○居住地区に必要な都市基盤・都市施設

- ・伊保地区では「防犯灯・街灯の整備」、「身近な公園等の整備」、阿弥陀地区と中筋地区では「下水道の整備」、北浜地区では「地域間道路網の整備」が他地区と比較し必要とする割合が多い。

図 災害への備えとして必要なこと（市民問 29）

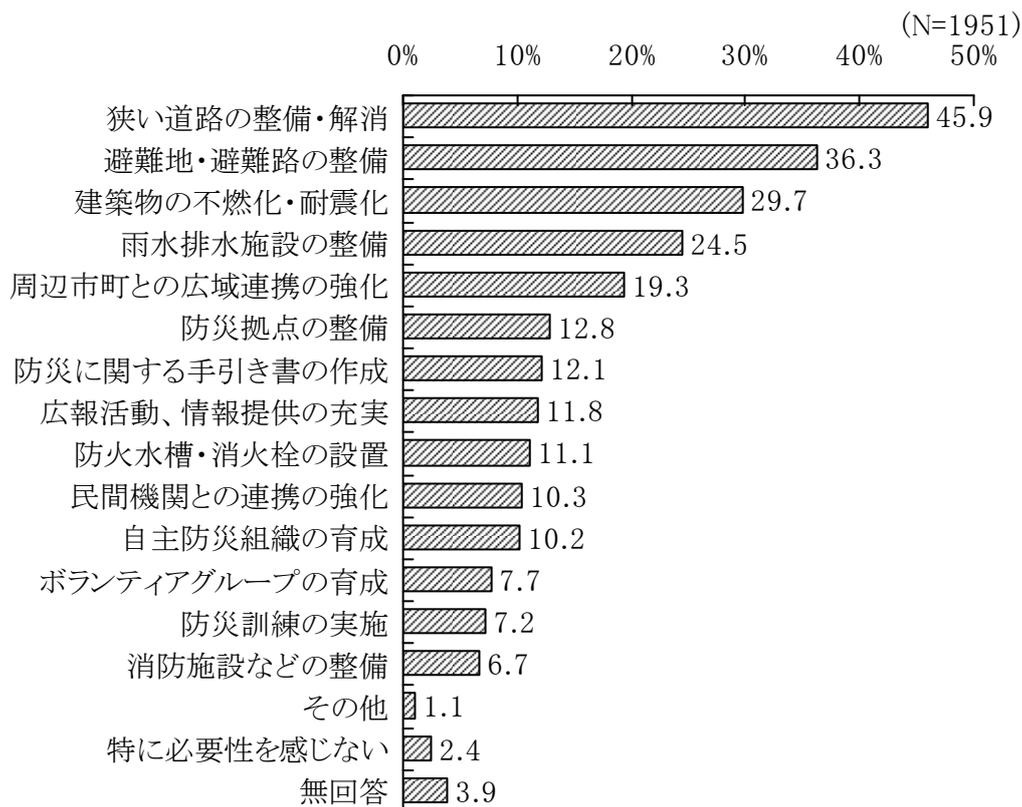
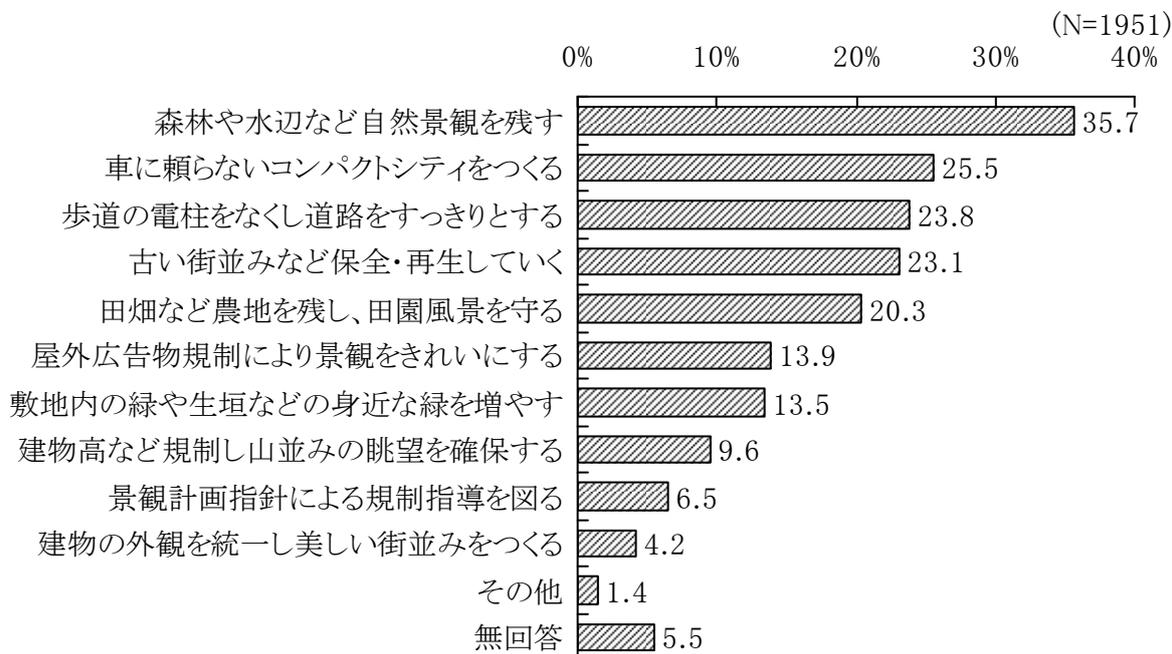


図 自然環境・美しい街並みの景観形成に重要な取組み（市民問 30）



○防災対策

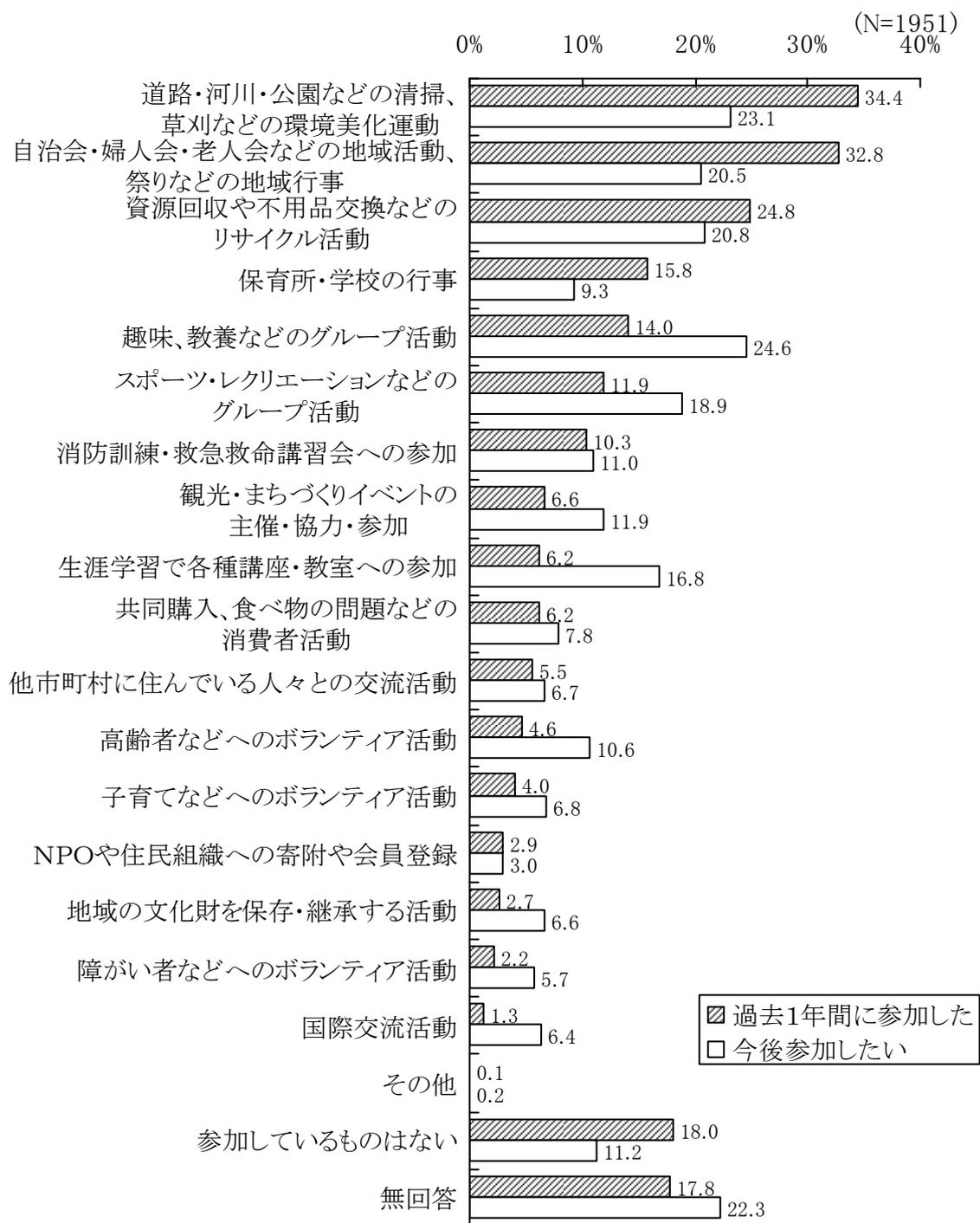
- ・「狭い道路の整備・解消」を望む意見が最も多く、次いで「避難地・避難路の整備」、「建築物の不燃化・耐震化」が多い。

○今後のまちづくりの方向性

- ・「森林・丘陵、水辺など自然景観を残す」を重要とする意見が最も多い。
- ・高年層では「車に頼らないコンパクトシティ」を望む意見も多い。

(4) 市民活動について

図 地域社会活動への参加状況・参加意向（市民問31）



○参加状況

- ・「清掃などの環境美化運動」、「自治会などの地域活動・祭りなどの地域行事」、「リサイクル活動」が多い。
- ・阿弥陀地区や伊保地区での参加状況は活発であり、高砂地区や曾根地区では少ない。

○参加意向

- ・参加状況と比較し、「趣味やスポーツなどのグループ活動」、「生涯学習への参加」、「各種ボランティア活動」などへの参加意欲が高い。